



**電車でのアクセス**

- 大阪方面から (JR利用)**
- 大阪駅 (紀州路快速) → 和歌山駅 (約1時間30分)
  - 和歌山駅 (約1時間)
  - 御坊駅 (約1時間45分)
  - 白浜駅 (約2時間30分)
  - 串本駅 (約3時間20分)
  - 紀伊勝浦駅 (約4時間)
- 新大阪駅 (特急列車)**
- 和歌山駅 (約1時間)
  - 御坊駅 (約1時間45分)
  - 白浜駅 (約2時間30分)
  - 串本駅 (約3時間20分)
  - 紀伊勝浦駅 (約4時間)
- 大阪方面から (南海電鉄利用)**
- なんば駅 → 和歌山市駅 (約1時間)
  - 橋本駅 (約50分)
- 名古屋方面から (JR利用)**
- 名古屋駅 (新幹線) → 新大阪駅 (特急列車) → 和歌山駅 (約2時間10分)
  - 名古屋駅 (特急列車) → 新宮駅 (約3時間30分)

**車でアクセス**

- 大阪方面から**
- 吹田JCT → 和歌山IC (約1時間10分)
  - 御坊IC (約1時間50分)
  - 南紀白浜IC (約2時間30分)
  - すさみ南IC (約2時間50分)
  - 那智勝浦IC (約3時間50分)
- 名古屋方面から**
- 名古屋西JCT → 和歌山IC (約3時間00分)
  - 那智勝浦IC (約3時間20分)

\*掲載の所要時間等はすべて目安です。

**和歌山県に関するお問い合わせ**

**和歌山県観光振興課・(公社)和歌山県観光連盟** 〒640-8585 和歌山市小松原通1-1  
☎073(441)2775 / ☎073(422)4631 / FAX073(432)8313

**わかやま紀州館** 〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館地下1F  
☎03(3216)8000 / FAX03(3216)8002

**和歌山県名古屋観光センター** 〒460-0008 名古屋市中区栄4-16-36 久屋中目ビル4F  
☎052(263)7273 / FAX052(265)0327

和歌山県観光ホームページ | 和歌山県観光情報 | 検索



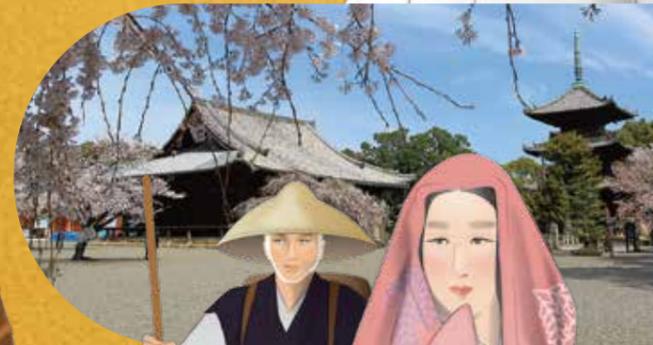
発行/和歌山県観光振興課



わかやままるスタンプラリー  
**わかやま歴史物語**  
モバイルでらくらくスタンプラリー  
**人物編**  
(神話~安土桃山)



チェックポイントを巡りスタンプを集めると、  
抽選で賞品が当たる!!



# わかやま歴史物語とは

～100のストーリーで大人の知的好奇心を満たす和歌山の旅～

神話の時代から近代に至るまで、和歌山県内各地に残る歴史を「100の旅モデル」として特設Webサイトで紹介しています。

ストーリーごとに、歴史資産だけでなく、その歴史にまつわる秘話や併せて立ち寄りしたいSNS映えスポットにグルメ、温泉、体験なども掲載し、歴史を学びながら和歌山を丸ごと楽しめるモデルコースをご提案。

歴史の舞台を巡り、悠久のロマンを追体験できる大人の旅を。



詳しくは…WEBサイトをCHECK!!

わかやま歴史物語 検索



## わかやま歴史物語

人物編(神話～安土桃山)

全26ストーリー

1	紀氏(きし)	国内最大規模!豪族・紀氏の墓とも伝えられる「岩橋千塚古墳群」へ! ……	7
2	有間皇子(ありまのみこ)	悲劇の皇子 有間皇子と藤白坂 ……	8
3	鈴木孫一(すずきまごいち)	信長に挑み続けた男・鈴木孫一(雑賀孫一)の合戦の舞台をたどる ……	9
4	弘法大師空海(こうぼうだいしゅうかい)	弘法大師空海が開いた霊峰 文化財の宝庫 高野山 ……	10
5	役行者(えんのぎょうじゃ)	葛城修験と役行者ゆかりの地で祈りの歴史に触れる ……	11
6	応其上人(おうごしようにん)	応其上人と秀吉と橋本の町 ……	12
7	真田幸村(さなだ ゆきむら)	“日本一の兵”赤備えの軍を率いた真田幸村 ……	13
8	明恵上人(みょうえしようにん)	「菩提心」を貫き、多くの権力者から帰依された明恵上人 ……	14
9	明恵上人(みょうえしようにん)	修行の地 刈藻島を愛してやまなかった明恵上人 ……	15
10	宗祇法師(そうぎほうし)	「花の下」の号を受けた希代の連歌師、宗祇法師誕生の地 ……	16
11	安珍(あんちん)・清姫(きよひめ)	「日本無双」と称えられた道成寺縁起!安珍・清姫の悲恋の物語 ……	17
12	法燈国師(覚心)(ほつとうこくし/かくしん)	法燈国師(覚心)が創建した名刹 興国寺～径山寺味噌と虚無僧と天狗～ ……	18
13	護良親王(もりよし/もりながしんのう)	建武中興の立役者!護良親王の足跡をたどる ……	19
14	湯川氏(ゆかわし)	秀吉の紀州攻めでも衰えぬ厚き信仰心!湯川氏ゆかりの寺内町 ……	20
15	安倍晴明(あべの せいめい)	大陰陽師・安倍晴明 紀南に残された伝承の地 ……	21
16	武蔵坊弁慶(むさしぼう べんけい)	源義経にも仕えた武蔵坊弁慶の故郷 田辺市 ……	22
17	安珍(あんちん)・清姫(きよひめ)	妖しく、そして悲しき「道成寺物語」安珍・清姫の悲恋の物語 ……	23
18	小栗判官(おぐりほうがん/はんがん)	「小栗判官伝説」が静かに息づく蘇りの聖地を訪ねて ……	24
19	神武天皇(じんむてんのう)	天津神御子の試練 神武東征神話!!神武天皇と天磐盾と熊野灘 ……	25
20	徐福(じょふく)	徐福伝説～不老不死を求めて～ ……	26
21	護良親王(もりよし/もりながしんのう)	北山の地から捲土重来を目指した護良親王 ……	27
22	西行(さいぎょう)	諸国行脚の歌人 西行が歌い歩いた道を行く ……	28
23	後鳥羽上皇(ごとばじょうこう)	熊野の入口、藤白から続く後鳥羽上皇が愛した峻険な道のり ……	29
24	武内宿禰(たけのうちのすくね)	330歳まで生きた?伝説のヒーロー 武内宿禰の足跡をたどる ……	30
25	五瀬命(いつせのみこと)	日本最古の英雄譚として知られる「神武東征神話」をたどる旅 ……	31
26	有間皇子(ありまのみこ)	日本版ハムレット?有間皇子の儂き万葉歌 ……	32

## わかやまスタンプラリー

# わかやま歴史物語

人物編 (神話～安土桃山)

### スタンプラリー概要

「わかやま歴史物語100」の中から、神話～安土桃山時代に活躍した人物にゆかりある26の旅モデルを巡るスタンプラリー。

#### ルール

- 26の旅モデルに各3箇所、チェックポイントを設定。
- 旅モデル毎に設定した3箇所すべてでチェックすると、当該旅モデルのスタンプを1つ獲得。
- 獲得したスタンプ数に応じてA～C賞の応募権を得る。

#### 実施期間

2023年 2月28日(火)まで



スタンプ獲得数に応じて豪華景品が当たる!

旅モデルを巡り、スタンプを集めて、豪華景品が当たる抽選に応募しよう!

20個	A賞…1万円相当のプレミアム和歌山商品	10名様
13個	B賞…5千円相当のプレミアム和歌山商品	20名様
3個	C賞…3千円相当のプレミアム和歌山商品	30名様

26の旅モデル  
全てのスタンプを集めた方には…  
「完全達成賞」を  
応募者全員にプレゼント!



全26のスタンプ  
デザインを使用した  
特製マグカップ

※イメージです。

### 和歌山県優良県産品 プレミア和歌山

- わかやまの逸品「プレミアム和歌山」とは…
- ◎和歌山県内で生産・製造されたもの
- ◎安心・安全を重視したもの
- ◎和歌山らしさ、和歌山ならではのもの

これらの観点から県が優良な県産品を認定・推奨する制度。プレミアム和歌山推奨品は、右のマークが目印。ぜひ、このマークがついた推奨品をお買い求めください。

### スタンプラリー参加方法

用意するのはスマホだけ!  
アプリダウンロードで、誰でも簡単に始められる!

アプリの使い方は簡単!! スタンプ台紙いらずで、らくらくスタンプラリー!

#### 1 まずはアプリをダウンロード



Androidの場合はGoogle Playから、iOSの場合はApp Storeからアプリをダウンロードしてください。

#### 2 アプリ起動&ログイン



アプリを起動し、必要な情報を入力し、新規登録!スタンプラリーを始めましょう!

#### 3 スタンプラリー開始!



スタンプラリーのルールを確認し、スポットを検索。そのスポットを目指しましょう!

#### 4 アプリでチェックイン!!



チェックポイントに到着後、チェックインボタンからスポットを選択し、チェックイン!

#### 5 スタンプ数に応じた景品の応募権をゲット



各ストーリーに3箇所あるチェックポイントを巡るとスタンプを獲得!スタンプを集めて、豪華景品が当たる抽選に応募しよう!



アプリのダウンロード・利用は無料です。

わかやま・まるごとスタンプラリー

検索

# わかやままるスタンプラリー

## わかやま 歴史物語

モバイルでらくらくスタンプラリー

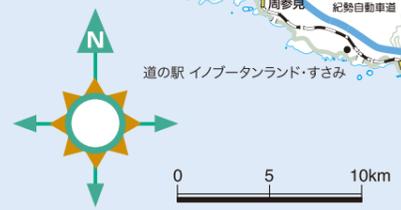
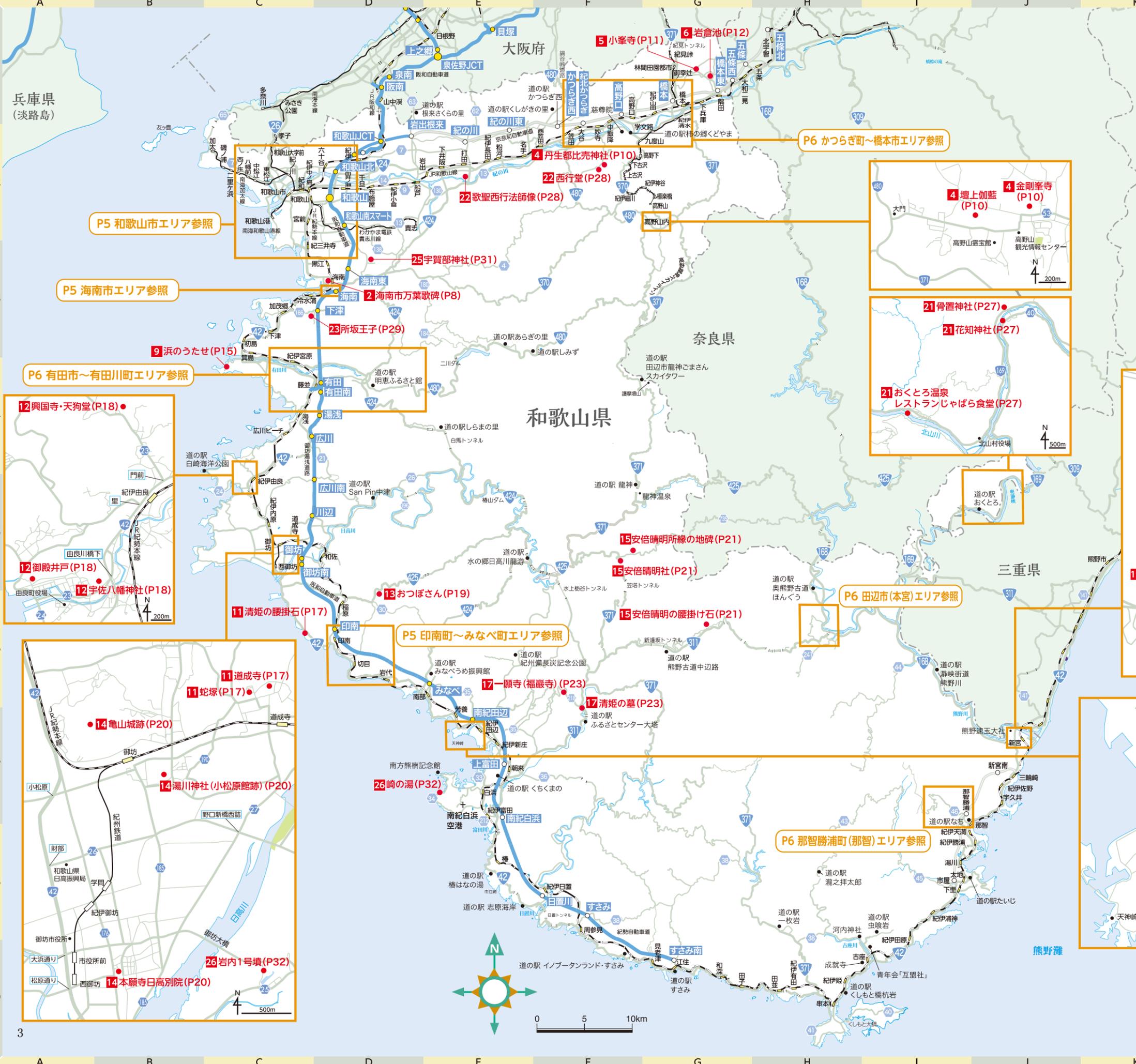
### 人物編

(神話～安土桃山)

### 広域地図

本誌掲載スポットを探そう！

●…チェックポイント







# 国内最大規模! 豪族・紀氏の墓とも伝えられる「岩橋千塚古墳群」へ!

詳細情報



## 人物 紀氏 (きし)

大陸文化を日本にもたらし、歴史上大きな役割を果たしたといわれている古代の豪族「紀氏」。孝元天皇の子孫と紀氏の女性との間に武内宿禰が生まれ、宿禰が蘇我氏、葛城氏などの大豪族の祖先になったといわれています。

紀氏一族は、紀の川下流南岸の日前宮周辺の平野に広い水田を開発、宮井用水と呼ばれる水路をめぐらせて生活基盤を安定させ、人口を増加させていったといえます。

そんな紀氏の墓ではないかと考えられているのが、和歌山市東部に残る岩橋千塚古墳群です。

## モデルコース

日前宮と國懸神宮の総称  
代々紀氏の末裔が宮司を務める



**チェックポイント** **日前宮** MAP P5 E-4  
☎073-471-3730 和歌山市秋月365  
参拝8:00~17:00 境内自由

車で7分



古墳時代に地域を支配していた豪族「紀氏」の墓場ともいわれる  
**チェックポイント** **岩橋千塚古墳群** MAP P5 G-4  
☎073-471-6123 (紀伊風土記の丘)  
和歌山市岩橋1411 9:00~16:30  
定休:月曜(祝日の場合は翌平日)、12/29~1/3  
入園料=無料、資料館は有料

岩橋千塚古墳群の保存と公開を目的として開館した県立の博物館施設

**「紀伊風土記の丘」資料館**  
☎073-471-6123 和歌山市岩橋1411  
9:00~16:30(入館は16:00まで)  
定休:月曜(祝日の場合は翌平日)、12/29~1/3、  
展示替え期間 入館料=190円

車で15分

名物はエビフライがのったオムライス  
**ガーデンカフェ**  
☎073-462-2332 和歌山市弘西1126-1  
11:00~15:00(土日祝は~17:00) 不定休

車で10分

古墳時代の倉庫群としては、国内では屈指の規模を誇る  
**鳴滝遺跡**  
和歌山市善明寺 散策自由

車で15分

釜山古墳、車駕之古墳、茶白山古墳の3基がほぼ一列に並ぶ  
**チェックポイント** **釜山古墳群** MAP P5 B-2  
和歌山市木ノ本 散策自由

車で25分

神経痛はか20種以上の効能があるとされる炭酸泉  
**花山温泉 薬師の湯**  
☎073-471-3277 和歌山市鳴神574  
8:00~22:00 定休:木曜(祝日の場合は営業)  
入浴料=1100円(17:00~は850円)  
※日帰り食事・宿泊プラン多数あり



岩橋千塚古墳群  
国の特別史跡に指定されている大規模群集墳  
山麓の紀伊風土記の丘には  
竪穴住居が復元されている

紀の川下流域を支配した古代の豪族「紀氏」。そんな紀氏の墓ではないかと考えられているのが、岩橋千塚古墳群です。岩橋千塚古墳群には、確認されているだけでも約900基の古墳があり、全国でも最大級の古墳群とされています。周辺では、朝鮮半島製の土器や武器、装飾品が数多く出土し、紀の川河口部に花開いた国際色豊かな古墳文化は、紀氏一族の朝鮮半島などとの交流によってもたらされたものと考えられています。そんな史跡に包まれた和歌山で、古代文明と出会う旅を楽しんでみましょう。



## 日前宮

日前(ひのくま)神宮と國懸(くにがみ)神宮の両神宮の総称。御神体は日像鏡(ひがたのかがみ)と日矛鏡(ひぼこのかがみ)で、天孫降臨の際、三種の神器とともにそえられ、神武天皇東征の後、紀伊国へと奉祀されたと伝わります。歴史上もつとも由緒ある神社のひとつで、現在は81代目となる紀氏の末裔が宮司を務めています。

## 岩橋千塚古墳群

和歌山市の丘陵地帯に広がる約900基を超える全国でも最大規模の古墳群。国の特別史跡に指定された大変貴重な古墳群で、平成28年(2016)には、県内最大級の前方後円墳・天王塚古墳等が追加指定されました。この古墳群は、古墳時代に地域を支配していた豪族「紀氏」の墓場であるともいわれています。



## 釜山古墳群

和泉山脈の南側に位置する釜山古墳群は、東から釜山古墳、車駕之古墳(しゃかのこし)古墳、茶白山(ちやうすやま)古墳の3基がほぼ一列に並んでいます。中でも、全長約120mになる県内最大規模の古墳である車駕之古墳古墳は、国内でも他に類例のない朝鮮半島からもたらされた可能性の高い金製勾玉が出土しています。  
\*写真は車駕之古墳古墳と出土した金製勾玉

## 秘話 岩橋型横穴式石室と呼ばれる石室に入ってみよう!

岩橋千塚古墳群では、石室や墳丘が実際に見学できるようになっています。岩橋型横穴式石室の特徴は、石梁や石棚が設置されている点。また、紀の川南岸で採取される青石(結晶片岩)が使われているほか、遺体を葬る玄室への入口が狭くなる玄室前道と呼ばれる構造をもつことも、大きな特徴です。



# 悲劇の皇子 有間皇子と藤白坂

詳細情報



## 人物 有間皇子 (ありまのみこ) 舒明12年(640)~斉明4年(658)

父は軽皇子、母は左大臣・阿倍内麻呂の娘・小足媛(おたらしひめ)。有間湯湯(神戸市)にて生まれたことが名の由来です。大化の改新後、軽皇子が孝徳天皇として即位したため、皇位継承の可能性もありましたが、中大兄皇子が政治の実権を握るとその立場は一変。危険を察知した有間皇子は、療養と称して牟婁の湯(白浜町)へ避難しました。帰京後、この地を称賛して斉明天皇に勧めました。

その後、蘇我赤兄が仕向けた謀反の囂にはまった有間皇子は、裁きを受けることとなり、牟婁の湯に行幸中の斉明天皇もとへ。そこで、中大兄皇子の厳しい尋問を受け送還となり、途中の藤白坂にて、わずかに19歳で絞首されました。

## モデルコース

境内には有間皇子を祀った有間皇子神社がある

**チェックポイント** **藤白神社** MAP P5 B-8  
☎073-482-1123 海南市藤白448 境内自由

徒歩で3分

藤白神社から南へ約200m、有間皇子が詠んだ歌碑も

**チェックポイント** **有間皇子の墓地伝承地** MAP P5 B-9  
海南市藤白353 散策自由

徒歩ですぐ

囚われの身でこの時を越えた有間皇子に思いを馳せる

## 藤白坂

海南市藤白 散策自由

徒歩で3分

万葉集に14首の歌が収められている海南市  
**チェックポイント** **海南市万葉歌碑** MAP P3 D-3  
海南市 散策自由

車で7分

濃厚かつあっさりしたスープが人気の和歌山ラーメン

## 中華そば楠本屋

☎073-482-1661 海南市船尾257-9  
11:00~23:00 定休:木曜

車で3分

和歌山県の伝統工芸品である紀州漆器を販売  
**うるわし館**  
☎073-482-0322 海南市船尾222  
10:00~16:30 定休:年末年始・お盆

徒歩ですぐ

根来模様研ぎ出し体験が楽しめる古民家カフェ

## 黒江ぬりもの館

☎073-482-5321 海南市黒江680  
11:00~17:00 定休:火・水曜(祝日の場合開館)



生まれながら政争に巻き込まれ、19歳で処刑された有間皇子。皇位継承の可能性も多分にはありましたが、蘇我赤兄に謀反をそそのかされたことで運命の歯車が狂いました。囚われの身となり、紀伊国・牟婁の湯に行幸中の斉明天皇のもとへ護送される途中、有間皇子が詠んだ1首が藤白坂の入口に歌碑として残されています。「家があれば筍に盛る飯を草枕 旅にしあれば椎の葉に盛る」。旅情あるこの歌も、このあと彼がたどる運命を予感したものだと思えば、その切ない思いが込められた歌だと感じられます。

## 藤白坂

蘇我赤兄の陰謀により絞殺された有間皇子の墓と歌碑があります。



## 藤白神社

万葉の時代、斉明天皇が牟婁の湯(白浜温泉)に行幸の際、この地を訪れ創建されたと伝わります。熊野古道九十九王子のうち格式のあった五躰王子のひとつとしても知られています。境内には有間皇子を祀った有間皇子神社があり、日本書紀による有間皇子の命日の毎年11月11日には「有間皇子まつり」が催されます。



## 有間皇子の墓地伝承地

藤白神社から南へ約200m、藤白坂の入口にあたるこの地で有間皇子は処刑されたと伝えられています。護送中の有間皇子が詠んだ「家があれば筍に盛る飯を草枕 旅にしあれば椎の葉に盛る」が刻まれた歌碑もあります。



## 海南市万葉歌碑

海南は、昔から風光明媚な土地として有名。多くの歌人に詠まれており、万葉集にも14首の歌が収められています。有間皇子の墓から、古い建物が残る黒江の町並みの間に、9首の万葉歌碑をめぐることができます。  
\*写真はJR海南駅前の歌碑

## 秘話 全国の鈴木さんは要注目! 鈴木さんには鈴木家の家系図を

平安時代に熊野から藤白に移り住み、代々続いたという鈴木氏は、藤白神社を拠点に全国に熊野信仰を広めました。2013年には「第七回全国鈴木サミット」も開催。鈴木姓の方は記念品として藤白神社で藤白鈴木氏の家系図のコピーがもらえます。



# 信長に挑み続けた男・鈴木孫一 (雑賀孫一) の合戦の舞台をたどる

詳細情報



## 人物 鈴木孫一 (すずき まごいち)

戦国時代、紀の川下流域(和歌山市)に勢力をもっていた雑賀衆は、最新の鉄砲を備え、高度な射撃技術を有したことから「雑賀鉄砲隊」として名を馳せました。これを率いたのが、孫一です。

元亀元年(1570)、織田信長と対する本願寺顕如から援助要請を受けた雑賀衆は石山合戦に参戦し、孫一は大坂本願寺方の武将として信長に抵抗しました。その後、第一次木津川口(海戦)など、孫一の戦略の前に惨敗を喫した信長は、雑賀衆を討つことを決意し、天正5年(1577)、10万もの軍勢を率いて雑賀攻めを開始。鉄砲を使用した巧みな戦術で勇敢に挑んだ雑賀衆の活躍は、人々の心を捉え伝説となっています。

### モデルコース

日本三大水攻めのひとつ 秀吉軍に対し雑賀衆が立てこもり抵抗

#### 太田城跡(来迎寺)

和歌山市太田2丁目3-7 境内自由

車で15分

雑賀合戦の際には孫一が本陣を築城

#### 秋葉山(弥勒寺山)城跡

☎073-435-1076 (和歌山市公園緑地課) 和歌山市秋葉町14 散策自由

車で5分

勝ち神様として信仰される雑賀庄の守り神

#### 矢宮神社

☎073-444-0668 和歌山市関戸1-2 境内自由

車で15分

和歌山ラーメンの老舗人気店

#### 山為食堂

☎073-422-9113 和歌山市福町12 11:00~17:00 定休:日曜、祝日

車で3分

織田信長との合戦を戦い抜いた大坂本願寺が移転した紀州鷲森の地

#### 本願寺鷲森別院

☎073-422-4677 和歌山市鷲森1 境内自由

車で15分

孫一がモチーフのキャラクター「まごりん」などの雑賀グッズが揃う

#### 紀州雑賀 孫市城

☎090-9888-0881 和歌山市西布経丁1-13 定休:要問い合わせ

車で15分

織田信長の紀州攻めの際に雑賀衆の前線基地となった城

#### 中野城跡

和歌山市中野 散策自由

車で10分

雑賀衆コーナーではゆかりの品を展示

#### 和歌山市平井ふれあいセンター

☎073-488-9111 (平井歴史資料室) 和歌山市平井72-1 9:00~17:00 定休:日曜、祝日、12/29~1/3 入場料=無料



本願寺鷲森別院で行われる「孫市まつり」の鉄砲演武

旗印に三本足の「八咫鳥」を掲げ、その子孫であるという誇りをもち、織田信長を前に決してひるまなかった強靭さを誇る「雑賀鉄砲隊」。かつて、これを率いたのが、鉄砲の名手であり無頼の武将として知られる鈴木孫一(雑賀孫一)です。戦国時代において勇名を馳せようとする武将達のなかで異色の存在であり、紀州の民は自分たちの側に立ち、共に戦う孫一を尊敬しました。そんな孫一の気概をたどるべく、合戦の舞台となった雑賀衆ゆかりの地を巡ります。

## 矢宮神社

賀茂建津之命(かまたけつのみのみこと)、別名「八咫鳥命」を祀る雑賀庄の守り神。天正5年(1577)3月3日の雑賀合戦の際に、信長軍の侵攻を阻止した孫一が勝利を祝い、境内で「雑賀踊り」を踊ったと伝えられており、現在も勝ち神様として信仰されています。孫一が戦の際に用いたとされるほろ貝も保管。



## 本願寺鷲森別院

元亀元年(1570)以来、10年に及ぶ織田信長との合戦を戦い抜いた大坂本願寺も、天正8年(1580)、ついに朝廷の和議斡旋を受け入れ、大坂を退去することに。顕如(けんによ)上人一行は紀州鷲森に本願寺を移転。その後、顕如上人が貝塚に移る3年余の間、浄土真宗の本山となりました。別名「雑賀御坊」とも呼ばれました。

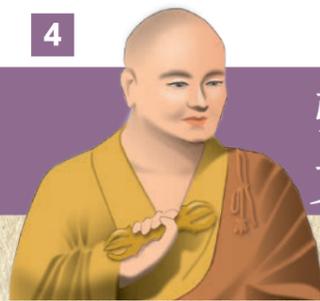


## 和歌山市平井ふれあいセンター

地域の歴史を発信する展示室を備えた複合施設。センターの1階には平井歴史資料室があり、文化財コーナーでは、古墳時代の平井遺跡土輪倉の移築模型や出土品等を、雑賀衆コーナーでは、平井城の模型や雑賀鉢等の複製品を展示しています。

## 秘話 雑賀衆と韓国との関係

16世紀末の豊臣秀吉による朝鮮出兵の際、小説によれば、日本側で大義名分がないとして朝鮮側に鉄砲の技術などを伝えた孫一の子ともである孫市郎が、朝鮮で「沙也加(さやか)」と呼ばれ将軍になったといわれています。史実は分かりませんが、徳川家康を祀った和歌山市内の紀州東照宮に沙也加顕彰碑が建立されています。



# 弘法大師空海が開いた霊峰 文化財の宝庫 高野山

詳細情報



## 人物 弘法大師空海

(こうぼうだいしこうかい) 宝龜5年(774)~承和2年(835)

讃岐国(香川県)生まれ。俗名を佐伯眞魚(ささきのまお)といいます。若くから修業を重ね、博学多識ぶりが認められた空海は、延暦23年(804)に遣唐使の一員として唐へ留学し、真言密教の最高権威である高僧・恵果(けいか)から継承者に選ばれました。帰国後、密教の修行場を探していたところ、白と黒の2匹の犬を連れた狩場明神(高野御子大神)と出会い、高野山へ導かれました。そして、古くからこの地を治める丹生都比売大神(にうつひめのおおかみ)から神領地の一部を授かり、弘仁7年(816)、高野山を開山。承和2年(835)に奥之院に入室し、永遠の瞑想へ入ったと伝えられています。

### モデルコース

空海が高野山を授けた社

#### 丹生都比売神社

☎0736-26-0102 伊都郡かつらぎ町上天野230 境内自由(授与所8:45~16:30)

徒歩ですぐ

天野米お食事セットが人気の古民家カフェ

#### 天野のみ処Cafe客殿

☎0736-26-0372 伊都郡かつらぎ町上天野140 11:00~16:30 定休:火・水・木・金曜(祝日は営業)

車で30分

日本における密教思想の真理の世界を空海が具現化した聖地

#### 壇上伽藍

☎0736-56-2011 (総本山金剛峯寺) 伊都郡高野町高野山152 8:30~17:00 無休 境内自由(金堂、根本大塔は入館料各500円)

徒歩で7分

弘法大師自筆の書跡など 国宝21件を含む5万点以上の文化遺産を収蔵

#### 高野山霊宝館

☎0736-56-2029 伊都郡高野町高野山306 8:30~17:30(11~4月は~17:00) ※最終受付は閉館の30分前 定休:年末年始 入館料=一般1300円、高校・大学生800円、小学生600円

徒歩で6分

#### 金剛峯寺

☎0736-56-2011 (総本山金剛峯寺) 伊都郡高野町高野山132 8:30~17:00(受付は16:30まで) 無休 境内自由(内拝=大人1000円、小学生300円)

徒歩で7分

高野山名物の笹巻あんぶを生み出した元祖

#### 麩善

☎0736-56-2537 伊都郡高野町高野山712 9:00~17:00(売切れ次第終了) 定休:月曜(祝日の場合は翌日)、冬期不定休

徒歩で15分

海外からの参拝者も多数訪れる珈琲店

#### 光海珈琲

☎0736-56-5030 伊都郡高野町高野山571 土曜12:00~17:00、日曜9:00~15:00 不定休



根本大塔(内陣)の 立体曼荼羅

日本で最も有名な僧の一人である空海は、唐の都・長安に遣唐使として渡り、真言宗の高僧・恵果から数々の教を伝授され、帰国後、弘仁7年(816)高野山で真言密教の修行の地として開いたのが、総本山金剛峯寺の始まりです。開創から1200年以上の間、多くの僧や信徒の協力のもとで守られ続けた聖地には、壇上伽藍の建物群をはじめ数多くの国宝や文化財が残されています。貴重な遺産に触れて、国家の安泰を願った不屈の精神を持つ空海の思いに迫りませんか。



#### 丹生都比売神社【にうつひめじんじや】

高野山の麓・かつらぎ町上天野に1700年以上前より鎮座する紀伊国一宮。丹生都比売大神と高野御子大神をはじめ、四柱の神様を祀っています。女人高野「慈尊院」と高野山内を結ぶ表参道である「高野山町石道」の間にあり、古より同社を参拝した後、高野山へ向かうのが習わしとされています。



#### 壇上伽藍

日本における密教思想の真理の世界を、空海が具現化した聖地。朱塗りの根本大塔を中心に総本堂・金堂などの塔堂が立ち、開創の際に真っ先に整備に着手したことで知られています。同所へ訪れた際は古くから伝わる「両邊遺堂(りょうだんにようどう)」に則って参拝するのが正しいマナー。中門から時計回りに順序よく巡りましょう。



#### 金剛峯寺

空海によって開かれた総坪数4万8295坪もの広大な聖地。明治2年まで「一山境内地」といわれ高野山全体が金剛峯寺でした。つまり壇上伽藍や奥之院はもとより、周辺のすべてが境内地となっていたのです。

## 秘話 弘法大師空海と三鈷(さんこ)の松

空海が日本で真言密教を広めるための場所を探して中国の明州の浜から三鈷杵と呼ばれる法具を投げたところ、日本へ飛んでいきました。帰国した空海が、旅の道中その三鈷杵を発見したのが、高野山の壇上伽藍にある松の木。高野山で密教を広めるきっかけとなりました。

# 葛城修験と役行者ゆかりの地で 祈りの歴史に触れる

詳細情報



**人物 役行者** (えんのぎょうじゃ)  
 舒明6年(634)~大宝元年(701)

葛城修験を開いた人物で、修験道の開祖といわれています。本名を役小角(えんのおづぬ)といい、舒明天皇6年(634)に大和国葛城上郡茅原郷(奈良県御所市)に生まれたとされています。役行者にまつわる伝説は数多くあり、二つの鬼を弟子として自在に操り、不思議な力を駆使して、空や野山を駆け巡ったといった逸話も残っています。

役行者が葛城修験を開いた後に移った修行の地が大峯山であり、世界遺産にも登録されている霊場「吉野・大峯」は、修験者にとって葛城修験とともに最も重要な行場とされています。

## モデルコース

635段の階段を登りつめた先にある  
修験道の行場

### 不動山の巨石

☎0736-33-3552 (はしもと広観光案内所)  
橋本市杉尾 散策自由

車で15分

役行者の開基といわれ修験道の行場だった古刹

### 小峯寺

☎0736-37-0250 橋本市小峰台2-1 境内自由

車で15分

橋本市屈指の歴史を誇る料理店

### 堺屋

☎0736-32-1230 橋本市東家6-5-15  
11:30~14:00、16:00~21:00(夜は完全予約制)  
定休:月曜、第1・3火曜

車で35分

修験道の本尊である蔵王権現が主祭神

### 葛城蔵王権現社

☎0736-22-0300 (かつらぎ町観光協会)  
伊都郡かつらぎ町大畑824 境内自由

車で20分

標高650mの山間に佇む役行者ゆかりの観音さま

### 堀越観音

☎0736-25-0001 伊都郡かつらぎ町東谷1360 境内自由

徒歩で15分

大日如来の文字が刻まれた2尺強の自然石

### 葛城二十八宿 第十三経塚

☎0736-22-0300 (かつらぎ町観光協会)  
伊都郡かつらぎ町東谷 散策自由

車で15分

地元の果物や野菜など幅広い品揃えが魅力

### 道の駅 くしがきの里

☎0736-25-0155 伊都郡かつらぎ町滝53-1  
9:00~17:00 無休

粉河寺駐車場まで車で15分、  
粉河寺駐車場から徒歩60分

葛城灌頂(かんじょう)という  
特殊な儀式が行われてきた重要拠点

### 中津川行者堂

☎0736-77-0843 (紀の川市観光振興課)  
紀の川市中津川 境内自由



修験者

和泉山脈から金剛山脈へと連なる葛城山系は、奈良の大峰山と並ぶ修験道の聖地。修験道の開祖・役行者は、まず葛城山系の峰々を開山、各所に28の行場を開きました。そこに経塚を築き、法華経八巻二十八品を分納したと伝えられています。これが葛城二十八宿であり平安末期から鎌倉初期に成立したと考えられています。修験道のルーツといえる葛城二十八宿のほか、役行者や修験道にゆかりの深い地を巡り、祈りの歴史に触れてみませんか。

### 小峯寺

役行者の開基といわれ、古くから修験道の行場だった古刹。今もなお、毎年3月には、天下泰平、五穀豊穡を祈る修験道の法儀、柴燈大護摩供(さいとうだいごまく)が行われ、秘仏・本尊馬頭観世音菩薩が開張されます。寺域には蔵王権現、役行者等をお祀りする権現堂もあり、その横には役行者の母・白専女(しらとおめ)御前のお墓と伝わる十三重切立塔が佇んでいます。



### 葛城蔵王権現社

かつらぎ町と大阪府河内長野市の境界にあたる蔵王峠に鎮座。主祭神は修験道の本尊である蔵王権現で、7世紀末に役行者が修験道の行場として開いたと伝わります。蔵王峠から境内へ続く参道に連なる朱塗りの鳥居が、神秘的な美しさを醸し出しています。

### 堀越観音

標高650mの山間に佇む、役行者ゆかりの祈願寺。本尊の十一面観世音菩薩は、役行者が痲病を患った母の回復を願って一刀三礼のもとに刻んだものと伝わり、代々大切に祀られています。本堂の向いには修行大師の像が建ち、イチョウの大木や樹齢600年のサザンカなど、境内の見どころも豊富です。

## 秘話 「日本の音風景百選」に数えられる巨石の音色

「不動山の巨石」には、大人の手ほどの穴が開いたものがあります。穴に耳を当てると、あの世の音とも、紀の川のせせらぎとも思える神秘的な音色が聞こえることから、「日本の音風景百選」に選定されています。かつて杉尾の地は山深く不便だったため、村人たちはこの音を聞いて紀の川に思いを馳せていたそうです。

# 応其上人と秀吉と橋本の町

詳細情報



**人物 応其上人** (おうごしようにん)  
 天文5年(1536)~慶長13年(1608)

近江国(滋賀県)生まれ。元は、佐々木氏、越智氏に仕えた武士でしたが、主家の没落後、天正元年(1573)に37歳で高野山に出家し、真言宗の僧に。出家してからは、五穀を食べずに木の実や、野菜ばかりを食べて仏教の修行に励んだことから、木食(もくじき)上人とも呼ばれました。

天正13年(1585)、豊臣秀吉が高野山を焼打ちにしようとした際、上人は高野山を代表して、巧みな交渉術により滅亡を回避。これを機に秀吉から信任を得ることとなり、高野山再興に向けた協力体制が敷かれました。また、地域発展のため、橋の建設や灌漑用池の開拓を行いました。

## モデルコース

天正年間に応其上人の指示により整備

**岩倉池** MAP P3 G-1  
 ☎0736-33-1111 (橋本市教育委員会 文化スポーツ係) 橋本市隅田町稲草 散策自由

車で20分

応其上人が再建に尽力  
ご本尊のそばには応其上人像が安置

**応其寺** MAP P6 M-2  
 ☎0736-32-0218 橋本市橋本2-3-4 境内自由

車で20分

運動場の一面には上人の碑が建つ

### 応其小学校

☎0736-42-2067 橋本市高野口町名古曾19-1  
見学は原則不可

車で25分

応其上人が整備を主導  
池を見下す高台には上人の供養碑が現存

### 平谷池

☎0736-33-1111 (橋本市教育委員会 文化スポーツ係) 橋本市南馬場 散策自由

車で15分

地元の農家が栽培した農産物を販売

**くにぎ広場** MAP P6 M-3  
 ☎0736-33-5288 橋本市南馬場506-5  
9:00~17:00 定休:火曜

車で10分

店主手造りの石窯で焼くピッツァが評判

### 木間亭

☎0736-34-2871 橋本市西畑489-1  
11:00~17:00 定休:木曜

車で60分

金剛峯寺の前身の寺で、豊臣秀吉の母親・大政所の菩提を弔うために建てられた

### 青巖寺(金剛峯寺)

☎0736-56-2011 (総本山金剛峯寺)  
伊都郡高野町高野山132  
8:30~17:00(受付は16:30まで) 無休  
境内自由(内拝=大人1000円、小学生300円)



応其上人が手がけた  
橋本橋(現在)と紀の川

応其上人が名を挙げた功績は数多くありますが、なかでも高野山の滅亡を救うべく、豊臣秀吉と交渉した使者としての活躍が有名です。また、この地の繁栄のため税改正に着手したほか、「橋本」の由来となった紀の川の架橋など辣腕ぶりを発揮し、現在も使用されている平谷池や岩倉池などの灌漑用池を改修するなど村人たちが生活しやすい環境を整えました。それらの偉大な功績は語り継がれており、橋本市の各所で応其上人の足跡を辿ることができます。



### 岩倉池

天正年間(1573~1593)、応其上人によって改修が指示されて整備された大きなため池。傍らには天正18年(1590)3月と記された五輪石塔が建てられており、水の恩恵を受けた村人らが感謝の思いをここで祈願しました。また一説ではこの池から水を引き、6つの村の水田を潤したともいわれています。



### 応其寺

高野山真言宗の寺院で、かつて応其上人が再建に尽力したとの言い伝えが残ります。ご本尊の救世観世音菩薩のそばには上人像が安置されていて、今なお界隈の平穏を祈り続けています。豊臣秀吉から送られた古文書や古記録類を所蔵し、山門・鐘楼をはじめ上人とゆかりのある宝室にもふれることができます。



### くにぎ広場

一年を通して地元の農家が栽培した農産物を販売するほか、コロッケなどの加工品も扱っています。なかでも11~3月頃に販売するごぼう「はたごんぼ」がイチオシ。一度は栽培が途絶えた地元の伝統野菜で、太くて香り豊かなおいしさがあります。

## 秘話 応其上人が手がけた橋

今こそ自動車が行き交う大きな橋がいくつも架かる紀の川ですが、応其が存命していた頃は橋がなく、村人・旅人らは不便さを感じていました。そんな不満を解消すべく上人は天正15年(1587)に、紀の川をまたぐ橋の建設に着手。そして待望だった長さ130間(約236m)の大橋が誕生しました。

# “日本一の兵”赤備えの軍を率いた 真田幸村

詳細情報



## 人物

**真田幸村** (さなだ ゆきむら)  
永禄10年(1567)~慶長20年(1615)

武田氏に仕える信濃国(長野県)上田城主真田昌幸(まさゆき)の次男として生まれました。本名は信繁(のぶしげ)といいます。

天正10年(1582)、織田信長・徳川家康の連合軍との間に起こった「天目山の戦」で武田勢が敗れ、昌幸の軍も上田城に引き返す途中、4万人余りの北条軍に遭遇。幸村は、約300人の真田軍を6隊に分け、北条方である武将松田氏の旗印永楽通宝を描いた旗を兵に持たせ闘争をかけた。北条方は味方の松田が謀反を起こしたと勘違いし、大混乱となり無事に上田城へ帰還。この功績により、幸村は、英雄の旗印「六文銭」を持つことになりました。

## モデルコース

世界遺産と真田幸村関係の情報を発信

**世界遺産情報センター**  
(道の駅柿の郷くどやま)

☎0736-54-9966 伊都郡九度山町入郷5-5  
9:00~17:30 定休:1/1~3 入場料=無料

徒歩で8分

真田家三代の軌跡をパネルや映像で紹介

**九度山・真田ミュージアム**

☎0736-54-2727 伊都郡九度山町九度山1452-4  
9:00~17:00(最終入場16:30)  
定休:月・火曜(祝日の場合は翌平日)  
入館料=500円

徒歩ですぐ

真田父子が閑居した屋敷跡に建つ寺院

**真田庵(善名称院)**

☎0736-54-2019(九度山町産業振興課)  
伊都郡九度山町九度山1413 9:00~16:00  
無休 真田宝物資料館入館料=200円

徒歩ですぐ

本場信州仕込みの二八蕎麦

**そば処幸村庵**

☎0736-54-3751 伊都郡九度山町九度山1404  
11:00~18:00 定休:月曜(祝日の場合は翌平日)

徒歩で3分

九度山に古くから伝わる  
真田紐の伝統を今に伝える工房

**真田紐工房**

☎0736-54-2019(九度山町中央公民館)  
伊都郡九度山町九度山1390-1(真田古墳前)  
不定休

徒歩ですぐ

「真田の抜け穴」伝説の舞台

**真田古墳**

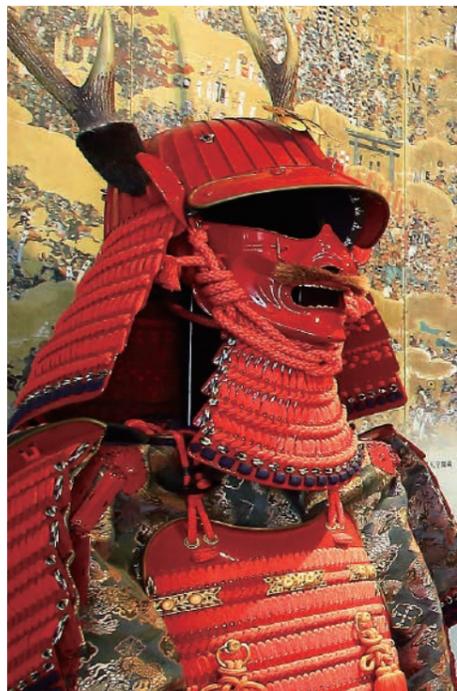
☎0736-54-2019(九度山町産業振興課)  
伊都郡九度山町九度山1341-3 散策自由

徒歩で3分

鯖、鮭、椎茸、鯛を酢飯にのせて  
柿の葉で包んだ逸品

**柿の葉すし九和楽**

☎0736-54-2600 伊都郡九度山町九度山1353  
8:00~売り切れまで  
定休:月曜(祝日の場合は翌日)



**世界遺産情報センター(道の駅柿の郷くどやま)**

周辺の道案内、世界遺産と真田幸村関係の情報を発信する観光拠点です。併設する農産物直売所では地元の農家から届く新鮮な野菜や果物のほか、ご当地ならではの特産品がいっぱい。とれたてのおいしさをお土産に。



関ヶ原合戦後、徳川家康によって昌幸・幸村父子は高野山に追放され、その後高野山麓の九度山に居住することになりました。慶長19年(1614)の大坂冬の陣に際して豊臣秀頼に招かれた幸村は、大坂の陣で赤備えの軍を率いました。百戦錬磨の武将を相手に朱色の鎧兜を纏って戦場を駆け巡る様はまさに鬼神。薩摩の島津家久は「真田日本一の兵、古よりの物語にもこれなき由」と書き残しています。九度山町にある真田一族ゆかりの歴史を訪ねてみましょう。



**九度山・真田ミュージアム**

真田家三代に渡るストーリーを、後世に向けて伝えることを目的にオープン。戦国末期に生きた勇将の九度山とのかかわりを、パネル展示とムービーで分かりやすく紹介しています。また貴重な史料や書簡も公開されており、歴史好きならずとも思わず見入ってしまうこと間違いありません。趣向を凝らした企画展もチェック。

**真田庵(善名称院)**

配流後、真田昌幸・幸村父子が閑居した屋敷跡に建つ寺院。敷地内には真田昌幸の墓をはじめ、真田家とゆかりの深い史跡が数多くあります。なかでも幸村が落雷を封じ込めて里人の難を救ったという伝説が残る「雷封じの井」、昌幸の霊をこの地の守り神として祀ったとされる「真田地主大権現」は必見です。

## 秘話 真田の抜け穴伝説

真田古墳は古くから「真田の抜け穴」の別名で呼ばれています。これは真田幸村が大坂冬の陣の際、監視の目から逃れるために古墳の抜け穴をくぐりぬけて戦場へ出向いたという伝説が由来で、今なお語り継がれています。真偽のほどは不明ですが、幸村ファンにとってはロマンをかき立てられる逸話のひとつなのです。

# 「菩提心」を貫き、多くの 権力者から帰依された明恵上人

詳細情報



## 人物

**明恵上人** (みょうえしょうにん)  
承安3年(1173)~寛喜4年(1232)

石垣荘吉原村(有田川町)生まれ。8歳で両親を失い孤独の身となった明恵上人は、9歳で京都神護寺に入山し、16歳で出家しました。

仏の道を究めようと修行を重ね、最初の修行地であった白上峰(湯浅町)では、俗念払拭の決意を示さんと、自らの右耳を切り落とすなど、その修行は激しいものでした。本来あるべき姿の仏教、あるべき姿の僧を求め続けたその姿勢は、人々に感銘を与え、後鳥羽上皇をはじめ多くの人々の帰依を受けました。説戒の際には、上人を慕う群集で説法ができないうほどであったと言われていました。

名誉や利欲を離れ、純真無垢に生き抜いたことから、生涯不犯の清僧とも呼ばれています。

## モデルコース

草庵を建て、弟子とともに修行した地

**内崎山遺跡**

☎0737-52-2469(浄教寺)  
有田郡有田川町井口22 散策自由

車で3分

明恵上人の意向が反映されたと伝わる仏涅槃図は、3、9月の彼岸中日のみ公開

**浄教寺**

☎0737-52-2469 有田郡有田川町長田542  
境内自由

車で15分

明恵峽を見下ろす高台にある日帰り温泉

**かなや明恵峽温泉**

☎0737-32-5526 有田郡有田川町修理川181-3  
11:00~21:00(最終受付20:30)  
定休:第2金曜、年末 入浴料=700円

車で10分

明恵上人が草庵を建てた場所

**筏遺跡**

☎0737-52-2111(有田川町商工観光課)  
有田郡有田川町敬喜寺西原1103 散策自由

車で10分

明恵上人生誕地の近くに建つゆかりの寺

**敬喜寺**

☎0737-32-3425 有田郡有田川町敬喜寺159  
境内自由 宝物殿拝観料=300円

徒歩ですぐ

明恵上人の生誕地である国指定史跡

**吉原遺跡**

☎0737-52-2111(有田川町商工観光課)  
有田郡有田川町敬喜寺中越179 散策自由

車で3分

野菜や果物、地鶏、ジビエまで  
地元の味覚が集まる道の駅

**道の駅 明恵ふるさと館**

☎0737-32-9778 有田郡有田川町金屋322-1  
9:00~18:00、10~2月は9:00~17:30  
定休:年末年始、パンは月・火曜

明恵大橋の明恵上人像

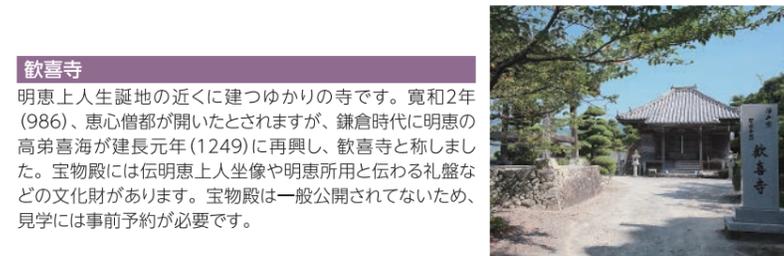


承安3年(1173)有田川町で生まれた明恵上人は、幼き頃より釈迦のように捨て身を試みるなど、仏の道を究めようとする意思が強かったと伝わります。京都や有田での修行を経て、34歳の時に後鳥羽上皇から京都榎尾の地を授かり高山寺を創建。権力者からの帰依を受けるも一宗一派の祖師にならず、本来あるべき仏教と僧の姿、「菩提心」を追求しました。そんな彼が誕生した地や20代の頃に修行を積んだ場所などを訪ね彼の仏教に対する想いを偲んでみてください。



**内崎山遺跡**

法蔵寺の境内山にある遺跡。8歳にして両親を失った明恵上人を、叔母である崎山尼とその夫、崎山良貞が引き取って過ごした屋敷跡と伝わります。承元2年(1208)には、崎山尼が亡くなった夫の菩提の屋敷を明恵上人に寄進しました。上人は後方に草庵を建て、弟子とともに修行しました。



**敬喜寺**

明恵上人生誕地の近くに建つゆかりの寺です。寛和2年(986)、恵心僧都が開いたとされますが、鎌倉時代に明恵の高弟喜海が建長元年(1249)に再興し、敬喜寺と称しました。宝物殿には伝明恵上人坐像や明恵所用と伝わる礼盤などの文化財があります。宝物殿は一般公開されていないため、見学には事前予約が必要です。

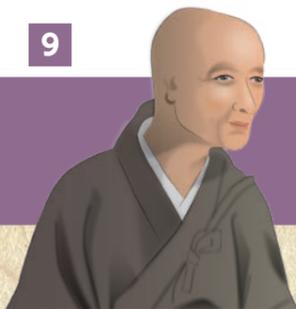


**吉原遺跡**

承安3年(1173)に生まれた、明恵上人の生誕地である国指定史跡です。遺跡内には誕生地を示す卒塔婆や上人胎衣塚と書かれた石碑もあります。付近の地名は今でも「上人田」「念仏田」と呼ばれ、明恵との縁を深く感じさせます。

## 秘話 明恵上人の「夢記」は最も古い夢日記

明恵上人は19歳から亡くなる2年前の58歳まで、40年間にわたり自分が見た夢を修行のひとつとして書き留めました。夢を正確に記憶して、客観的に記録するのはとても難しく、世界的にも極めて珍しいため、この夢記は「日本精神史上希有の書」ともいわれています。



# 修行の地 苅藻島を愛してやまなかった明恵上人

詳細情報



**人物 明恵上人** (みょうえしやうじん)  
承安3年(1173)~寛喜4年(1232)

石垣荘吉原村(有田川町)生まれ。8歳で両親を失い孤独の身となった明恵上人は、9歳で京都神護寺に入山し、16歳で出家しました。

仏の道を究めようと修行を重ね、最初の修行地であった白上峰(湯浅町)では、俗念払拭の決意を示さんと、自らの右耳を切り落とすなど、その修行は激しいものでした。本来あるべき姿の仏教、あるべき姿の僧を求め続けたその姿勢は、人々に感銘を与え、後鳥羽上皇をはじめ多くの人々の帰依を受けました。説戒の際には、上人を慕う群衆で説法ができないうほどであったと言われています。

名誉や利欲を離れ、純真無垢に生き抜いたことから、生涯不犯の清僧とも呼ばれています。

## モデルコース

苅藻島まで行くことができる  
無人島探検1日コースを体験  
※苅藻島までシーカヤックで片道1時間45分

### すはらしーサイドハウス

☎0737-63-6550 有田郡湯浅町栖原966-1  
9:00~18:00(予約受付) 定休:月曜(4~10月不定休)  
無人島探検1日コース=11000円  
半日コース=6500円

仏教発祥の地であるインドの方角を向いた  
明恵の石像が残る無人島

### 苅藻島

☎0737-63-2525(湯浅町役場)  
有田郡湯浅町 散策自由

すはらしーサイドハウスから車ですぐ  
創建時には明恵自ら本堂を開眼供養

**チェックポイント** **施無畏寺** MAP P6 H-6  
☎0737-62-2353 有田郡湯浅町栖原1465  
境内自由

徒歩で25分

明恵上人が京都の高雄から有田に戻り  
初めて草庵を結んだ場所

**チェックポイント** **西白上遺跡** MAP P6 H-6  
☎0737-63-2525(湯浅町役場)  
有田郡湯浅町栖原 散策自由

徒歩で10分

修行に打ち込むため、明恵上人が右耳を切った場所

**東白上遺跡**  
☎0737-63-2525(湯浅町役場)  
有田郡湯浅町栖原 散策自由

徒歩で30分(下山)、車で20分

修禪研究のために草庵を結んだ場所

**星尾遺跡**  
☎0737-83-1111(有田市産業振興課)  
有田市星尾 散策自由

車で15分

漁協直営の産直施設

**チェックポイント** **浜のうたせ** MAP P3 C-4  
☎0737-23-7138 有田市宮崎町2489  
9:00~18:00(食事は10:00~13:30)  
※季節により変動あり 定休:水曜・年末年始



小さな穴が見えるのが苅藻島

自ら厳しい修行を積み、悟りを開き、仏教本来の教えである「菩提心」が大切だと説いた明恵上人は、「菩提心」がなくても南無阿彌陀仏と唱えればよいと説いた法然を批判しました。その背景には釈迦を親と慕い、少しでも釈迦に近づきたいという思いがあったといわれています。帰郷後、最初に草庵を結んだ湯浅町は、そうした釈迦への強い思いが読み取れる場所です。ここでは修行をした苅藻島に「島殿」の宛名で手紙を送るなど、真摯に修行に打ち込んだだけでなく純粋に自然を愛した人柄も感じられます。



施無畏寺[せむいじ]

寛喜3年(1231)、当時栖原を支配していた明恵上人のいとこ・景基が、白上山周辺の土地を明恵に献上して創建。創建時には明恵自ら本堂を開眼供養しました。明恵の没後すぐに弟子が彫った明恵像は火事で焼失、現在は江戸初期の仏師作。西白上、東白上遺跡がある場所は車で難しいため、当寺の駐車場から歩いて向かいましょう。  
\*写真の右奥が本堂



西白上遺跡

建久6年(1195)明恵上人が23歳の時、京都の高雄から有田に戻り、初めて草庵を結んだ場所。当地で厳しい修行に励んでいましたが、波音や地元の人たちの生活音が修行の妨げになり、しばらくして東白上に移ったとされます。

浜のうたせ

新鮮な海産物、全国に誇る有田みかんをはじめとする農産物や、その他地域の名産品を豊富に取り揃えた、有田漁協直営の産直施設です。鮮魚の販売だけでなく、獲れたて、できたての絶品漁港グルメが味わえます。



## 秘話 鷹島の石を形見にし釈迦への想いを募らせた

釈迦がいるインドへの憧れが強かった明恵上人。鷹島で修行した際には、海はインドとつながっているとの思いから、浜辺で拾った石を持ち帰り、終生手元に置いていました。死を覚悟した際には「われざりてのちにしのばむ人なくばとびてかへりね たかしまの石」と詠み、その歌碑が施無畏寺の境内に建っています。



# 「花の下」の号を受けた希代の連歌師、宗祇法師誕生の地

詳細情報



**人物 宗祇法師** (そうぎほうし)  
応永28年(1421)~文龜2年(1502)

紀伊国藤並荘(有田川町)出身。猿楽師である親の元に生まれ、少年時代は旅芸人として全国を巡業しました。

13歳の頃、豊後国(大分県)へ巡業した際、宿泊先の住職に和歌の才を見出され、本格的に和歌の道に専念。地元に戻り16歳で青蓮寺にて出家し、30歳の頃に京都の相国寺へ入ると、連歌師として本格的に取り組み頭角を現しました。時の將軍・足利義尚からは連歌師の最高役職「北野連歌会所奉行」、後土御門天皇からは「花の下(はなのもと)」の称号を与えられ、連歌師の最高位に。諸国を巡り連歌の普及に尽力しましたが、旅の途中、箱根湯本の早雲寺で82年の生涯を終えました。

## モデルコース

武内宿禰が水主神を勧請し創建  
後に菅原道真朝臣を勧請し、共に祀られている

**藤竝神社**  
☎0737-52-8353 有田郡有田川町天満722  
境内自由

藤竝神社の境内にある県指定文化財

**泣沢女のお墳**  
☎0737-52-8353(藤竝神社)  
有田郡有田川町天満722 散策自由

徒歩で3分

齊明天皇が建皇子の菩提祈願のために建立  
宗祇が出家し幼名から改名した地

**チェックポイント** **青蓮寺** MAP P6 K-5  
☎0737-52-2111(有田川町商工観光課)  
有田郡有田川町天満697 境内自由

徒歩で5分

宗祇の生家があったとされる場所

**チェックポイント** **宗祇屋敷跡** MAP P6 K-5  
☎0737-52-2111(有田川町商工観光課)  
有田郡有田川町下津野1014 散策自由

車で50分

湯舟から眺める景観が素晴らしい

**しみず温泉 健康館**  
☎0737-25-1126 有田郡有田川町清水1225-4  
11:00~20:00(最終受付19:30)  
定休:水・木曜(臨時休館あり) 入浴料=600円

徒歩ですぐ

山椒をはじめ地元特産品も楽しめるカフェ&お食事処

**あざぎり**  
☎0737-25-1181 有田郡有田川町清水1225-1  
11:00~17:00 無休(臨時休館あり)

車で5分

日本の棚田百選に選ばれている「あざぎり」

**あざぎり島展望台**  
☎0737-52-2111(清水行政局産業振興室)  
有田郡有田川町三田285 散策自由

車で30分

パンが人気の地元の味覚が集まる道の駅

**チェックポイント** **道の駅 明恵ふるさと館** MAP P6 N-6  
☎0737-32-9778 有田郡有田川町金屋322-1  
9:00~18:00、10~2月は9:00~17:30  
定休:年末年始、パンは月・火曜休み



馬上の宗祇法師

西行や松尾芭蕉と並び、放浪三大詩人と呼ばれる宗祇法師。室町時代に活躍した連歌師であり、代表作『三無瀬三吟百韻』をはじめ、文化価値の高い作品を次々と発表しました。宗祇は、単にことば遊びであった連歌を、格調高い文学性と、芸術性の高いものへと変化させていきました。連歌は江戸時代に入ると寂れていったため、その存在は次第に薄らいでしまいましたが、芭蕉が著書の中で尊敬する歌人に挙げていることから、いかに優れた歌人だったか分かるでしょう。漂泊の詩人・宗祇法師の原点に触れてみてください。



青蓮寺

齊明天皇が建皇子の菩提祈願のために建立した古刹。16歳で宗祇が出家、幼名の勝童子から宗祇へ改名した場所でもあります。現在は近隣の生活道路の一部のため、参拝の際はご注意ください。



宗祇屋敷跡

応永28年(1421)、猿楽師の子として生まれた宗祇の生家があったとされる場所。建物はないが、現在は県指定史跡になっています。史跡内には歌碑や産湯に使用されたと伝わる井戸のほか、1975年に青蓮寺で発見された。室町時代に描かれた周辺の絵図が看板として建てられています。



道の駅 明恵ふるさと館

野菜や果物、ドレッシング、お菓子など、地元の味覚が集まる道の駅。有田川の清水と国産小麦、天然酵母を使ったパンもおすすめ。胡桃パン大360円、小140円など人気のものは売り切れることもあるのでお早めどうぞ。

## 秘話 宗祇法師の名を高めた古今和歌集解釈の継承

50歳の頃には全国的に評価の高かった宗祇法師。その地位をゆるぎないものとしたのは、52歳の時。古今和歌集の解釈やさまざまな分野の学説を、藤原定家の流れを継ぐ歌人・東常縁(とうのつねより)から伝授された(古今伝授)ことにより、その頃から朝廷や幕府に入り用になるようになったとされています。



# 「日本無双」と称えられた道成寺縁起！ 安珍・清姫の悲恋の物語



## 人物 安珍(あんちん)・清姫(きよひめ)

奥州白河(福島県)から熊野参詣に来ていた僧・安珍と紀州真砂庄(田辺市)の清姫との悲恋の物語として知られる安珍・清姫伝説。これは、思いを寄せた安珍に裏切られことに怒った清姫が、蛇体へと姿を変えて安珍を追いかけ、道成寺で鐘ごと焼き殺したというものです。その後、清姫は入水自殺しましたが、ある日、道成寺の住持の夢の中に、蛇道に転生した二人が現れ、「私たちを助けてほしい」と懇願し、住持が法華経供養を営み、二人は天上界に昇ったとされています。

法華経提婆達多品(ほけきょうだいはだたつほん)にある竜女救済物語を、平易に解説した仏教説話から生まれた物語といわれています。安珍も清姫も伝説上の架空の人物です。しかし、女人救済を唱える法華経を理解するために、紀州道成寺がその舞台となったことは特筆すべきことでしょう。

## モデルコース

- 能楽や歌舞伎の舞台となった古刹
- 道成寺** MAP P3 C-6  
☎0738-22-0543 日高郡日高川町鐘巻1738  
9:00~17:00 無休  
拝観料=600円(入山のみ場合は無料)  
徒歩ですぐ  
道成寺近くにある清姫の供養塚
- 蛇塚** MAP P3 C-6  
御坊市藤田町吉田 散策自由  
車で5分  
1929年創業の老舗土産物店  
紀州日高の特産品がそろっている
- 丸仁商店**  
☎0738-22-0281 御坊市湯川町小松原410-1  
8:00~19:00 無休  
車で10分  
親水池を取り囲む緑地公園  
ゲゲゲの鬼太郎像もある
- Sioトープ**  
☎0738-23-5531(御坊市商工振興課)  
御坊市塩屋町南塩屋450-26 散策自由  
車で5分  
清姫はこの地にあった大松に登り安珍を探した
- 清姫の草履塚**  
御坊市名田野野島(蔵井戸) 散策自由  
徒歩で3分  
御坊の海で獲れた魚介類や干物をお土産に
- はし長水産直売所**  
☎0738-29-2468 御坊市名田野野島2368  
9:00~18:00(喫茶コーナーはLO16:00)  
定休:水曜、元日  
車で5分  
清姫が腰をかけて休憩したと伝わる
- 清姫の腰掛石** MAP P3 C-6  
御坊市名田野野島 散策自由



道成寺「絵とき説法」

能・歌舞伎・浄瑠璃などで「道成寺物」として人気演目である安珍・清姫の物語。この物語は、紀州真砂庄(田辺市)の清姫が、熊野詣にやってきた修行僧の安珍に思いを寄せるが、裏切られたと知るや血相を変えて追いかけ、道成寺に逃げ込んだ安珍を大蛇へと姿を変え焼き殺し、自身も川へと身を投げたという伝説です。日高地域には、この伝説を物語る史跡が今も点在しているほか、物語の経緯とその後の二人についても記した『道成寺縁起』が残されています。悲恋の物語か、執念深い女性の怪談か、はたまた…。旅を通じて話の真相に想いを馳せてみましょう。

## 道成寺

大宝元年(701)創建、能楽や歌舞伎の舞台となった古刹。寺伝では宮子姫が文武天皇に願って創建されたとも。安珍・清姫物語の舞台であり、歌舞伎や能楽で使われた釣鐘などの展示のほか、安珍を埋葬した安珍塚なども残されています。宝仏殿に安置された国宝の千手観音菩薩や日光菩薩、月光菩薩など仏像群も必見です。



## 清姫の腰掛石

逃げる安珍がとっさに腰にかけて休息したと目くらんだ清姫は、この石に腰をかけて休息。その際、清姫の上半身が蛇に変わったといわれています。また、岩のくぼみは清姫のお尻の形とも。勇気のある方は腰をかけてみてはいかがでしょうか？

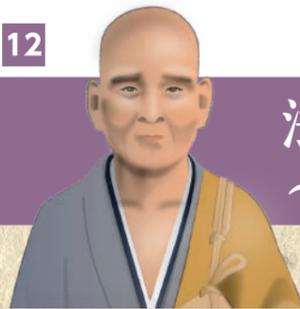


## 蛇塚

道成寺のほど近くにひっそりとある清姫の供養塚。釣鐘の中の安珍を焼き殺した後、清姫が大蛇の姿のまま、日高川の支流の一つに身を投げた場所とされています。

## 秘話 爆笑必至の絵とき説法

道成寺では、絵とき説法が盛んです。時事ネタなども織り込みながら、道成寺縁起と、安珍・清姫の物語から得られる「妻宝極楽(奥さんを家の宝として大事にしましょう)」の教訓を面白おかしく教えてください。



# 法燈国師(覚心)が創建した名刹 興国寺 ～径山寺味噌と虚無僧と天狗～



## 人物 法燈国師(覚心) (ほっとうこくし/かくしん) 承元元年(1207)~永仁6年(1298)

信濃国(長野県)で生まれた、鎌倉時代の僧。

戸隠神宮院で学び、東大寺で正式な僧となった後、高野山に入り密教の教えを身に付けるとともに、金剛三昧院で密教禪を修めました。建長元年(1249)、中国の宋にわたり、中国五大禅寺のひとつである径山寺に入るなど禅を学び、6年滞在した後、建長6年(1254)に帰国。

正嘉2年(1258)に再び金剛三昧院に入り住職となりましたが、しばらくして禅定院住持を退きました。翌年、葛山景倫の招きにより由良荘(由良町)の西方寺(後の興国寺)に移り、亡くなるまでその地で過ごしました。

中国より習得してきた径(金)山寺味噌の製造過程から醤油を生み出したともいわれています。

## モデルコース

- 天狗が一夜で建てたという伝説がある
- 興国寺・天狗堂** MAP P3 B-4  
☎0738-65-0154 日高郡由良町門前801  
日の出~日没 境内自由  
車で10分  
応神天皇御由緒の地として開かれた社  
覚心による扁額も伝わる
- 宇佐八幡神社** MAP P3 B-5  
☎0738-65-2784 日高郡由良町里169 境内自由  
徒歩ですぐ  
嵐に遭った神功皇后がこの地に上陸
- 平岩**  
日高郡由良町里 散策自由  
徒歩で5分  
上品な甘さが日本茶によく合う天狗力餅
- 菓匠 錦花堂**  
☎0738-65-0072 日高郡由良町里1356  
8:30~18:30(日曜は~16:30) 定休:月曜  
徒歩で5分  
紀州藩初代藩主が建てた別邸があった地
- 御殿井戸** MAP P3 A-5  
日高郡由良町網代114 散策自由  
車で5分  
醤油味でとろみがついた独特のちゃんぽん
- コーヒー&お好み焼き 大川**  
☎0738-65-2172 日高郡由良町吹井252-27  
10:00~20:00 定休:水曜、第3火曜  
車で10分  
神功皇后ゆかりの地に建つ古社
- 衣奈八幡神社**  
☎0738-66-0168 日高郡由良町衣奈669 境内自由  
車で10分  
2億5000万年前にできた石灰洞穴
- 戸津井鍾乳洞**  
☎0738-66-0406 日高郡由良町戸津井646  
9:00~17:00  
定休:月~金曜(祝日、町内小中学校の長期休み中は開園) 入場料=200円



興国寺

興国寺は安貞元年(1227)に、鎌倉幕府3代将軍・源実朝の菩提を弔うため、家臣・葛山景倫が創建した西方寺が前身の名刹です。建保7年(1219)に実朝が暗殺された後、景倫は高野山で出家し、願性と改め実朝の供養に勤めていました。その忠義を聞いた実朝の母・北条政子は、願性に由良荘(由良町)地頭職を与え創建されました。その後、西方寺は宋から帰国した僧・覚心を招き臨濟禅寺院となり、後村上天皇より「興国寺」の寺号が与えられるなど、時の権力者の庇護を受けながら発展を遂げました。静かな日高の山々にそびえる興国寺と共に、歴史ロマン薫る旅に出かけてみましょう。

## 興国寺・天狗堂

源実朝の菩提を弔うために建立された西方寺が前身であり、その後、宋から帰国した覚心が禅宗に改めました。虚無僧や普化尺八の発祥の地として知られています。また、火災で焼失した伽藍を一夜にして建て直したという天狗伝説も残っており、天狗堂には、高さ2.4m、幅2.7mの巨大なお面が祀られています。



## 宇佐八幡神社

応神天皇御由緒の地として開かれた神社で、境内の楠の巨木がご神木として親しまれています。秋に行われる「由良祭」と呼ばれる神事は、多くの人々で賑わいます。創建には興国寺も関わっており、法燈国師(覚心)による扁額も伝わるほか、修復、再建した際の棟札にも興国寺住職の文字が残っています。



## 御殿井戸

紀州藩初代藩主徳川頼宣が、寛文6年(1666)に建設した別邸・網代(あじろ)御殿の敷地内にあった井戸。延宝2年(1674)に別邸は撤廃されて、現在は井戸のみがこの地に残されています。

## 秘話 興国寺が生んだ2つの文化

「興国寺」は普化尺八を吹く虚無僧(こむそう)発祥の地であり、また金山寺味噌とそこから生まれた醤油の発祥の地ともいわれています。これらは共に初代の住職・覚心が中国の宋で学んだ事物を広めた結果といわれています。

# 建武中興の立役者！ 護良親王の足跡をたどる

詳細情報



**人物 護良親王**  
(もりよし/もりながしのう)  
延慶元年(1308)~建武2年(1335)

鎌倉末期から建武の新政期の皇族。6歳の頃、尊雲(そんうん)法親王として天台宗三門跡の一つである梶井門跡(三千院門跡)に入りました。幼少の頃から一を聞いて十を知るように利発聡明な頭脳の持ち主で、比叡山に入ると瞬く間に衆徒の信頼を集め、20歳の若さで天台座主の地位に就きました。

『太平記』では、武芸を好み、仏教の修行や学問には一切関わらず、毎日僧兵と武芸の訓練を熱心に取り組む不思議な天台座主であったことが描写されています。また、武器の取り扱いについては免許皆伝の腕前であったといわれています。

## モデルコース

護良親王が休息された由縁によって創建された神社

**東宮神社遺跡の碑** MAP P5 E-8  
☎0738-42-1737(印南町企画産業課)  
日高郡印南町印南 散策自由

車で4分  
「五鉢王子」と呼ばれる格式の高い王子社のひとつ

**切目王子** MAP P5 E-8  
☎0738-43-0049(切目神社)  
日高郡印南町西ノ地328 境内自由

車で3分  
海岸沿いに建つ、手作りハンバーグのレストラン

**海岸通り**  
☎0738-43-0573 日高郡印南町島田1676-12  
9:00~18:00(売り切れ次第終了) 定休:月・火曜

車で10分  
イボ取りのご利益があるという

**イボ薬師**  
☎0738-42-1737(印南町企画産業課)  
日高郡印南町宮ノ前 境内自由

車で10分  
護良親王が従者のひとりが亡くなり冥福を祈って建てた祠

**おつぼさん** MAP P3 D-6  
☎0738-42-1737(印南町企画産業課)  
日高郡印南町美里 境内自由

車で15分  
村人の親切に感じ入った護良親王はこの土地を「高串」と名付けた

**高串(切目川ダム)**  
☎0738-42-1737(印南町企画産業課)  
日高郡印南町高串 散策自由

車で5分  
しそ巻き甘漬け梅「真妻漬け」がおすすすめ

**奥真妻活々倶楽部**  
☎0738-46-0678 日高郡印南町大字上河678  
8:00~16:00 定休:月曜



切目神社

護良親王は、大塔宮とも呼ばれた後醍醐天皇の皇子。鎌倉幕府の倒幕運動に早くから参加し、建武の新政では征夷大将軍に任じられましたが、室町幕府成立後は足利尊氏と対立して暗殺された、悲劇の人物です。元弘元年(1331)の「元弘の変」で後醍醐天皇が隠岐に流された頃、護良親王は幕府の追及を逃れるため印南町など各地を通り、山を越えて北山村へ逃れたと伝えられています。鎌倉幕府滅亡の影の立役者、護良親王の足跡をたどってみてはいかがでしょうか。



**東宮神社遺跡の碑**  
東宮神社はかつて印南町印南本郷に鎮座していた小祠で、明治41年(1908)に宇杉八幡へ合祀されました。跡地には昭和15年(1940)頃に立てられた石碑が残っており、裏面には「元弘の昔大塔宮御足を休め給ヒシ地」と記されています。「東宮」の名が示す通り、護良親王が休息された由縁によって創建された神社であったようです。

## 切目王子

熊野九十九王子のなかでも「五鉢王子」と呼ばれる格式の高い王子社のひとつ。11~13世紀頃には熊野詣での中継地として栄え、数百人がこの地に宿泊したと伝えられます。『紀伊続風土記』によれば護良親王も切目王子に一泊し、そのとき見た夢のお告げによって切目川をさかのぼることになったといわれています。



## おつぼさん

「つぼ」とは埋葬用の甕棺(かめかん)のこと。護良親王が見影の村を通りかかった時、従者のひとりが亡くなり、同地に葬ったと伝えられています。この伝承を裏付けるように昭和38年(1963)には甕棺墓が発見されました。従者の冥福を祈って建てられた祠は、現在「おつぼさん」の愛称で親しまれています。



## 秘話 奈良県にも存在した「大塔村」

2005年に五條市と合併しましたが、奈良県南西部にもかつて「大塔(おおとう)村」という地区が存在していました。元弘の変で大塔宮護良親王が都から落ち延びてきたことに由来するそうです。親王はこの地方の豪族であった竹原八朗、戸野兵衛らの助けを得て全国に令旨を発し、倒幕の軍を起こしたと伝えられています。

# 秀吉の紀州攻めでも衰えぬ厚き信仰心！ 湯川氏ゆかりの寺内町

詳細情報



**人物 湯川氏** (ゆかわし)

室町幕府の奉公衆であった湯川氏は、日高地方を拠点として有田・牟婁地方に勢力を伸ばした、室町幕府の奉公衆(ほうこうしゅう)・將軍直属の家臣でした。

甲斐(山梨県)の武田氏を祖とし、鎌倉時代に熊野街道の要衝であった道湯川(田辺市中辺路町)に居を構え、その後、功を立て日高地方に進出したとされています。

戦国時代の湯川家当主である、政春(まさはる)、直光(なおみつ)、直春(なおはる)の時代になると表舞台に頻出するようになり、政春は放浪三大詩人と親交を深め、直光は、河内(大阪府)での戦いに湯川衆を率いて従軍し戦死、直春は豊臣秀吉の紀州攻めに抵抗しました。

## モデルコース

紀南最大規模の浄土真宗寺院

**本願寺日高別院** MAP P3 B-9  
☎0738-52-1000 9:00~17:00  
定休:土・日曜、祝日 幼稚園保育中は境内立入禁止

徒歩ですぐ  
「御坊東町はうきはいらぬ。お御堂参りの裾で掃く」と詠われた

**東町**  
御坊市御坊東町 散策自由

徒歩ですぐ  
寺内町で唯一内部が見学できる貴重な建物敷地内で「そば&Cafe なががわ」を運営

**旧中川家住宅(ぎやらりーなががわ)**  
☎0738-52-7285 御坊市御坊105  
11:00~16:00(そば&Cafe なががわ~14:00)  
定休:水曜 館内見学料=無料

徒歩で8分  
売り切れ必至のコロッケが名物

**まる金精肉店**  
☎0738-22-7015 御坊市園271-13  
9:00~18:00(揚物10:00~12:00/16:00~18:00)  
定休:日曜

徒歩ですぐ  
日本一短いローカル私鉄路線

**紀州鉄道**  
☎0738-23-0001 御坊市園275(紀州鉄道株式会社御坊事業所)  
6:30~20:25 運賃=御坊駅~西御坊駅180円

電車、徒歩で15分  
卵入りおろしポン酢で味わうトンカツが美味

**とんかつ一番**  
☎0738-24-0170 御坊市湯川町小松原50-1  
11:30~14:00(LO13:30)、17:00~20:00(LO19:30) 定休:水・日曜

徒歩で3分  
湯川直春が城内に建てた神社が由来

**湯川神社(小松原館跡)** MAP P3 B-7  
☎0738-22-3817 御坊市湯川町小松原89  
境内自由

徒歩で30分  
湯川光春が築いたとされる城跡

**亀山城跡** MAP P3 A-7  
☎0738-23-5525(御坊市教育委員会生涯学習課)  
御坊市湯川町丸山 散策自由



**東町**  
江戸期から昭和の町並みが残り、当時の見事な装飾の風采など貴重な建築様式を見ることができます。

日高別院を中心とした寺内町の歴史は1500年代後半まで遡ります。当時は湯川氏が日高(御坊)から有田・田辺地方を支配していましたが、天文元年(1532)の戦いで敗北。その際、湯川直光の帰還を手伝ったのが、京都山科本願寺の証如上人。直光は恩義を感じ、美浜町に本願寺の吉原坊舎を建立しました。この寺院は天正13年(1585)、秀吉による紀州攻めで、湯川一族の居城である亀山城や小松原館と共に焼失したものの、この地に根付いた信仰は消え去ることがありませんでした。紀州攻めが終わると仮の御堂が建ち、その後日高坊舎(現在の日高別院)が建立されて、同坊舎を中心に寺内町が形成されました。



**本願寺日高別院**  
湯川氏が本願寺第10世証如法主の時に吉原坊舎を建立したのが前身。本堂や太鼓楼などの威容に圧倒される紀南最大規模の浄土真宗寺院。本寺を中心とした寺内町は江戸時代、旅籠屋、木材問屋、酒屋などが軒を連ね繁栄しました。現在の本堂は文政8年(1825)に建立、門徒が当たった富くじを元手にしたともいわれています。

## 湯川神社(小松原館跡)

天正年間(1573~1592)、城主湯川直春が子の安産を祈願して亀山城内に神社を建てたことが由来と伝わっています。その後、城は戦で消失しましたが、社は難を逃れて現在の地に移されました。大きな楠が社を守るようにそびえています。



## 亀山城跡

湯川光春によって築かれたとされる湯川氏の城跡。天正13年(1585)に秀吉による紀州攻めが始まると、当時の城主・直春は、娘婿である玉置直和とともに秀吉と雌雄を決しようとしてますが、玉置氏は従わなかったといわれています。亀山城は秀吉に攻められ、その後紀南で抵抗を続けましたが、和睦しました。

## 秘話 国の登録文化財となった小竹八幡神社近くの酒蔵

江戸期から300年間酒造業を営んでいた「伊勢屋」の北蔵と南蔵。ともに御坊市の酒造業の歴史を伝え、地域の歴史的景観に寄与しているとして国の登録有形文化財に登録されました。



# 大陰陽師・安倍晴明 紀南に残された伝承の地

詳細情報



**人物 安倍晴明** (あべの せいめい)  
延喜21年(921)~寛弘2年(1005)

摂津国阿倍野(大阪市阿倍野区)に生まれた晴明は、天皇に仕え国家が管理する陰陽寮の官人でした。陰陽師賀茂忠行・保憲父子に陰陽道を学び、天文道を伝授されたといわれています。天元2年(979)、59歳の晴明は、皇太子貞親王(後の花山天皇)の命で那智山の天狗を封ずる儀式を行いました。このころから花山天皇の信頼を受けるようになり、記録にしばしば晴明が占いや陰陽道の儀式を行った様子が見られるようになりました。

その活躍は『今昔物語集』や『宇治拾遺物語』などにも見られます。

大坂に生まれ、京都で都人として暮らした晴明は、熊野街道を通り紀南地方へ陰陽道の修行に訪れていたとも伝えられています。

## モデルコース

安倍晴明に関わる伝承が残されることを示す

**チェックポイント** **安倍晴明所縁の地碑** MAP P3 F-5  
☎0739-78-2222 (龍神観光協会)  
田辺市龍神村殿原 散策自由

車で5分

安倍晴明を祀った神社

**チェックポイント** **安倍晴明社** MAP P3 F-5  
☎0739-78-2222 (龍神観光協会)  
田辺市龍神村殿原 境内自由

車で5分

晴明が法力で妖怪を封じ込めたと伝わる

猫又の滝

☎0739-78-2222 (龍神観光協会)  
田辺市龍神村殿原 散策自由

車で40分

地元特産物を販売するほか軽食も提供

道の駅 熊野古道中辺路

☎0739-65-0671 田辺市中辺路町近露 2474-1  
9:00~17:00 定休:12~2月の木曜、1/1~1/3

車で10分

この石に腰を下ろして休んでいた晴明は崩れはじめた山を法力で食い止めた

**チェックポイント** **安倍晴明の腰掛け石** MAP P3 G-6  
☎0739-64-0501 (田辺市中辺路行政局)  
田辺市中辺路町野中 散策自由

車で25分

血を吸うヒルに悩む住人のもとに現れた晴明が祈祷で抑えた

安倍晴明寝伏せ石

☎0735-42-0735 (熊野本宮観光協会)  
田辺市本宮町皆地 散策自由

車で40分

熊野古道に関する様々な情報を展示

熊野古道館

☎0739-64-1470  
田辺市中辺路町栗栖川11222-1 8:30~17:15  
定休:12/28~1/3 入館料=無料



五芒星が描かれた安倍晴明社の絵馬

伝説の陰陽師・安倍晴明は、式神を自在に操り、恐ろしい魔物を調伏、人間と白狐との間に生まれたともいわれています。現実離れたその逸話から架空の人物と思われがちですが、平安時代を生きた実在の人物で、紀南地方にもさまざまな晴明伝説が語り継がれています。熊野古道沿いには、晴明が訪れたと伝わる史跡が点在し、また龍神村南部の殿原地区には安倍晴明を祀った「安倍晴明社」などの伝承が残っています。一千有余年の時を経て晴明の足跡を辿る旅へ出かけてみるのはいかがでしょうか。

### 安倍晴明所縁の地碑

龍神村殿原地区には「安倍晴明社」をはじめ、安倍晴明に関わる伝承が残されることを示す石碑と案内板が立っています。周辺は一部道路が狭い区間があるため注意を。



### 安倍晴明社

安倍晴明を祀った神社。晴明がこの地を訪れた後、玉石を見つけた里人は、これを晴明の御神体と考えて祠を建て、それを祀ったといわれています。小さな社と鳥居が立つのみですが、地元人によって大切に守られています。



### 安倍晴明の腰掛け石

熊野を旅する途中、この石に腰を下ろして休んでいた晴明。その時、上方の山がにわか崩れはじめ、法力で崩壊を未然に食い止めたといわれています。石は民家の軒先にあるため、見学するにはご注意ください。

## 秘話 安倍晴明と五芒星の密接な関係

陰陽道の基本概念となる「陰陽五行説」は、5つの元素(木・火・土・金・水)の動きからなります。その関係を表わす象徴として五芒星を用いており、魔除けの呪符としても使われます。龍神村殿原にある「安倍晴明社」にもこの紋があり、晴明との深い関係を物語っています。



# 源義経にも仕えた 武蔵坊弁慶の故郷 田辺市

詳細情報



**人物 武蔵坊弁慶**  
(むさしぼう べんけい)

豪傑の代名詞として語られる武蔵坊弁慶。その生涯は「義経記」や「弁慶物語」などを基に伝説として語られることが多く、実態は明らかではありませんが、田辺市で出生したという説が有力です。

父は21代熊野別当・湛増(たんぞう)、母は二位大納言の姫とされ、幼名を鬼若(きわか)としました。比叡山での修行の後、自ら名付けたのが、現在一般的に知られている武蔵坊弁慶という名前です。

京都で源義経と出会った弁慶は、義経に仕え、その智謀と怪力で活躍しましたが、最期は奥州衣川にて義経を守るため戦い、全身に矢を受けながら立ったまま絶命しました。その壮絶な最期は「弁慶の立往生」として語り継がれています。

## モデルコース

大迫力の像が仁王立ちでお出迎え

**チェックポイント** **弁慶像** MAP P4 M-8  
☎0739-26-9929 (田辺市観光振興課)  
田辺市湊1 散策自由

徒歩で5分

境内の一角には弁慶を祭神とする社がある

**チェックポイント** **闘雞神社(弁慶社)** MAP P4 M-8  
☎0739-22-0155 田辺市東陽1-1  
社務所8:30~17:30 境内自由

徒歩ですぐ

「武蔵坊弁慶出生の地」の碑がある

大福院

☎0739-26-9929 (田辺市観光振興課)  
田辺市湊27-36 境内自由

徒歩で5分

闘雞神社のエピソードにちなんだ和菓子販売

菓匠 二宮

☎0739-22-1001 田辺市下屋敷町27  
9:00~18:00(喫茶は~LO16:30)  
定休:水曜・月1回火曜

徒歩で10分

弁慶の産湯の水を汲んだと伝わる井戸を復元

弁慶松、産湯井戸

☎0739-26-9929 (田辺市観光振興課)  
田辺市新屋敷町1 散策自由

徒歩で10分

境内片隅に「弁慶腰掛の岩」がある

八坂神社

☎0739-26-9929 (田辺市観光振興課)  
田辺市中屋敷町2 境内自由

徒歩で5分

弁慶観音と呼ばれる木造観音像を安置

**チェックポイント** **海蔵寺(弁慶観音)** MAP P4 M-8  
☎0739-22-0702 田辺市新南町20 境内自由

徒歩で5分

「弁慶の釜」にちなみ釜に見立てた最中を販売

鈴屋菓子店

☎0739-22-0436 田辺市湊15-11  
8:00~18:00 無休



闘雞神社

「勸進帳」や「船弁慶」をはじめ、歌舞伎や人形浄瑠璃などでもその名を知られる武蔵坊弁慶。怪力・豪傑の代表格として語られることも多いですが、実像は分かっていません。しかし京都・五条大橋での義経との出会いや仁王立ちでの壮絶な最期など、多くの逸話に垣間見えるその奥深い人間性は、後世を生きる人々の心を惹きつけています。弁慶は田辺市で出生したという説が有力視されており、市街地を巡ると弁慶の出生の地、産湯の井戸、幼少時に腰かけた石など、その足跡を辿ることができます。



弁慶像

JR紀伊田辺駅を出てすぐ左手。ロータリー内に武蔵坊弁慶の銅像が仁王立ちしています。昭和46年(1971)に建てられた像は、高さ3m、重さ2tという巨匠の大きさ。田辺市では毎年10月第1土曜日に、弁慶祭が行われています。



闘雞神社(弁慶社)

弁慶の父と伝わる熊野別当・湛増が壇ノ浦の合戦に際し、この地で源氏と平氏どちらに付くかを紅白の闘雞で占ったとされ、この逸話が名の由来にもなっています。境内の一角には弁慶を祭神とする「弁慶社」も。神社会館1階では、湛増の鉄扇や弁慶が使ったとされる産湯の釜、源義経から授けられたとされる横笛などを展示。

### 海蔵寺(弁慶観音)

慶長10年(1605)に田辺領主が建立した古刹には「弁慶観音」と呼ばれる木造観音像が安置されています。寺伝によると、湛増が源平合戦・壇ノ浦の戦いの際に像を軍船に安置して戦勝を期したのだとか。県の指定文化財で普段は写真パネルのみが展示されていますが、毎年5月18日の1日のみ御開帳され、多くの観光客を集めています。



## 秘話 弁慶は生まれた時から歯が生え揃っていた!?

巨躯で知られた弁慶は、母の胎内に3年間もいたという伝説も残されています。生まれた際には前歯だけでなく奥歯まで生えそろっており、髪の毛も長く伸びていたのだとか。この様子から「鬼若」という幼名が付けられたといわれています。



# 妖しく、そして悲しき「道成寺物」 安珍・清姫の悲恋の物語



人物 安珍 (あんちん)・清姫 (きよひめ)

奥州白河(福島県)から熊野参詣に来ていた僧・安珍と紀州真砂庄(田辺市)の清姫との悲恋の物語として知られる安珍・清姫伝説。これは、思いを寄せた安珍に裏切られことに怒った清姫が、蛇体へと姿を変えて安珍を追いかけ、道成寺で鐘ごと焼き殺したというものです。その後、清姫は入水自殺しましたが、ある日、道成寺の住持の夢の中に、蛇道に転生した二人が現れ、「私たちを助けてほしい」と懇願し、住持が法華経供養を営み、二人は天上界に昇ったとされています。

法華経提婆達多品(ほけきょうだいはだたつほん)にある竜女救済物語を、平易に解説した仏教話から生まれた物語といわれています。安珍も清姫も伝説上の架空の人物です。しかし、女人救済を唱える法華経を理解するために、紀州道成寺がその舞台となったことは特筆すべきことでしょう。

## モデルコース

一角には清姫を祀った清姫堂も建っている

**チェックポイント** **清姫の墓** MAP P3 F-6  
☎0739-64-1045 (福巖寺)  
田辺市中辺路町真砂 散策自由

車で5分

清姫一族の菩提寺  
境内には安珍・清姫物語のレプリカを展示  
**チェックポイント** **一願寺(福巖寺)** MAP P3 F-6  
☎0739-64-1045 田辺市中辺路町西谷575  
境内自由

車で10分

清姫は真砂一族3代目・真砂庄司清重の娘  
**(伝)真砂一族住居跡・(伝)清姫生誕屋敷跡**  
☎0739-64-0501 (田辺市中辺路行政局)  
田辺市中辺路町真砂 散策自由

車で20分

イートインがあるペーカリー

**Annpanto.**  
☎0739-34-3138 田辺市長野1737-1  
10:00～パンがなくなり次第閉店  
不定休※事前に問い合わせを

車で25分

清姫はこの杉の上で逃げる安珍を見つけた  
**掬木の杉(潮見峠越)**  
☎0739-26-9929 (田辺市観光振興課)  
田辺市上野 散策自由

車で40分

龍の力が水が湧き出るとされる井戸

**チェックポイント** **清姫の井戸(龍泉寺)** MAP P4 L-8  
☎0739-22-1883 田辺市古尾25-21 境内自由



掬木の杉(潮見峠越)

歌舞伎や能楽の演目で「道成寺物」として知られる安珍・清姫の物語。数々の名舞台を生み出したこの物語は田辺市から始まります。紀州真砂庄(田辺市)の清姫が、熊野詣に訪れた修行僧の安珍に一目惚れをして求婚。困った安珍は「熊野詣の帰りに必ず立ち寄り」と言い残して熊野詣へ旅立ちました。約束を信じて待つ清姫でしたが、別の道で帰ったことを知ると怒り狂って後を追いかけて、ついには大蛇に姿を変え、道成寺の鐘の中に隠れた安珍を焼き殺しました。妖しく、悲しい悲恋の地で2人に思いを重ねれば、新たな一面を知ることができるでしょう。



**清姫の墓**  
田辺市中辺路町の真砂地区、富田川のほとりに清姫が眠る墓があります。墓の隣に建つ石塔には「煩惱の焰も消えて今ここに眠ります清姫の魂」と言う詠歌が刻まれています。また、一角には清姫を祀った清姫堂もあります。



**一願寺(福巖寺)**  
「ひとつの願いを叶えてくれる」地藏尊が祀られることから、「一願寺」の通称で親しまれていますが正式名は「福巖寺」。清姫一族の菩提寺でもあり、江戸中期のものと思われる安珍・清姫物語の絵巻(非公開)も収められています。境内にはその絵巻を写したレプリカが展示されており、常時見学することができます。



**清姫の井戸(龍泉寺)**  
1000年以上前の延暦年間(782～806)、大干ばつがこの地を襲ったとき雨乞いによって現れた小龍が雨を降らせ、最後に身を落とした場所に建立されたと伝わります。境内には龍の力によって水が湧き出るとされる井戸があり、安珍を追いかけた清姫が、この泉の水を飲んで力をもらったことから「清姫の井戸」と呼ばれています。

## 秘話 清姫が体を清めた「清姫淵」

「清姫の墓」が竹む富田川のほとりは、清姫が水垢離を行った場所といわれ、「清姫淵」とも呼ばれています。現在はなくなりましたが、その時に衣を掛けたという「衣掛松」も傍らにあったと伝わります。



# 「小栗判官伝説」が静かに息づく 蘇りの聖地を訪ねて



人物 小栗判官 (おぐりほうがん/はんがん)

中世から近世にかけて流行した語り物文芸に登場する伝説上の人物。そのモデルは、常陸国(茨城県)の武将で、常陸小栗氏の当主であった小栗満重や、その子の小栗助重だといわれています。

この物語は、妻である照手姫の一門に毒殺された小栗が熊野で復活し、姫と再会した後、常陸国に大きな屋敷を構えて栄えたというものです。鎌倉時代に開かれた時宗の僧たちが、不思議な魅力を持つ熊野信仰を説法という形で世に広めるために創作したとされています。

説経節(宗教性と娯楽性を併せ持つ語り物)の代表作として知られ、浄瑠璃や歌舞伎の演目として有名です。

## モデルコース

判官が湯治を行い復活したとされる湯  
世界遺産に登録されている唯一の公衆浴場

**チェックポイント** **つぼ湯** MAP P6 H-8  
☎0735-42-0074 (湯の峰温泉公衆浴場)  
田辺市本宮町湯峯110 6:00～21:30  
無休(増水時・清掃点検時は休業)  
入浴料=大人400円、小人200円

徒歩で5分

判官が体力の回復を試すため  
持ち上げたと伝わる石

**カ石**  
☎0735-42-0735 (熊野本宮観光協会)  
田辺市本宮町湯峯 散策自由

車で3分

餓鬼阿弥の判官が乗っていた  
土車が埋められたとされる塚

**チェックポイント** **車塚** MAP P6 H-8  
☎0735-42-0735 (熊野本宮観光協会)  
田辺市本宮町湯峯 散策自由

車で7分

熊野地方の郷土料理めはり寿司が名物  
**めはり本舗 三軒茶屋 本宮店**  
☎0735-42-1888 田辺市本宮町本宮255-1  
8:30～16:00 定休:木曜、月末の水曜

車ですぐ

熊野の歴史や伝説にまつわる情報を紹介  
小栗判官に関するパネル展示もある  
**世界遺産 熊野本宮館**  
☎0735-42-0751 田辺市本宮町本宮100-1  
9:00～17:00 無休 入館料=無料

徒歩ですぐ

ついたお餅にうるち米を焙煎して挽いた粉を  
かけた熊野もうで餅がおすすめ

**茶房 珍重奄 本宮店**  
☎0735-42-1648  
田辺市本宮町本宮195-3 熊野本宮大社瑞鳳殿内  
9:00～16:00 定休:水曜

徒歩ですぐ

熊野詣の人びとが憧れた熊野三山のひとつ  
**チェックポイント** **熊野本宮大社** MAP P6 T-7  
☎0735-42-0009 田辺市本宮町本宮1110  
7:00～17:00 境内自由

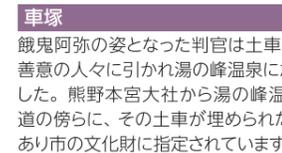


カ石

浄瑠璃や歌舞伎の演目で有名な「小栗判官」伝説。約600年前、戦に敗れ常陸国(茨城県)に逃れた判官は、絶世の美女・照手姫と出会い恋に落ちましたが、無断で結婚したことに怒った照手姫の父に毒殺されてしまいました。閻魔大王の裁きにより、目も見えず口も聞けない餓鬼阿弥の姿となり現世へ送り返された判官は、「この者を熊野の湯に入れば、元の姿に戻ることができる」とお告げを受けた高僧に助けられ、熊野を目指すことに。長い旅路の果て、ついには「湯の峰」にたどり着き、49日間の湯治により元の姿に戻ったといわれています。湯の峰温泉に残る「つぼ湯」は小栗判官復活の湯といわれ、周辺には、判官ゆかりの史跡が残されています。



**つぼ湯**  
判官が湯治を行ったとされる湯で、2004年には世界遺産に登録。天然岩を使った湯船の底から源泉が湧き、湯の色が1日7回も変化するといわれています。温泉の利用は30分交代の貸し切り制で、グループでの入浴も可能。近くにある「湯の峰温泉公衆浴場」で番号札を受け取り、順番を待って入浴します。



**車塚**  
餓鬼阿弥の姿となった判官は土車に乗せられ、善意の人々に引かれ湯の峰温泉にたどり着きました。熊野本宮大社から湯の峰温泉へ抜ける道の傍らに、その土車が埋められたという塚があり市の文化財に指定されています。



**熊野本宮大社**  
熊野詣の人びとが憧れた熊野三山の中心聖地で、主祭神は家都美御子大神。国の重要文化財に指定される熊野権現造の御本殿には、速玉大神、夫須美大神、天照大神などの神々も祀られています。湯の峰温泉で奇跡の復活を遂げた判官は、熊野三山に詣で、熊野権現より金剛杖を授かったといわれています。

## 秘話 小栗の足跡「カ石」と「まかずの稲」

判官が体力の回復を試すために持ち上げたといわれる「カ石」。すぐ近くには「まかずの稲」と呼ばれる場所もあり、判官が髪を結んでいた藁を捨てたところに稲が生え、毎年実り続けたと伝わります。復活の聖地・湯の峰温泉には、伝説を今に伝える史跡が多く残されています。



# 天津神御子の試練 神武東征神話!! 神武天皇と天磐盾と熊野灘

詳細情報



## 人物 神武天皇 (じんむてんのう)

初代天皇である神武天皇。父・鸕鷀草葺不合尊(うがやふきあえずのみこと)と母・玉依姫の第4子として生まれ、日向国(宮崎県)高千穂の天下った瓊瓊杵(ににぎの)尊の3代の孫といわれています。

45歳のとき、兄の五瀬命(いつせのみこと)や子とともに、日本全土を平和に治める都を置くための場所を探る旅に出かけました。日向国から東征を開始し、地元の豪族との争いなど数々の苦難を乗り越えながら、瀬戸内海を通過して難波に上陸した後、熊野へと迂回し吉野へ。そして紀元前660年に大和を平定し、橿原宮(奈良県)で初代天皇として即位しました。

## モデルコース

神武天皇が那智の山が輝くのを見て那智の滝を探り当てた

### 熊野那智大社

☎0735-55-0321 東牟婁郡那智勝浦町那智山1 6:00~16:30 境内自由

徒歩で15分

133mの落差日本一を誇る滝

### 那智の滝

☎0735-55-0321(熊野那智大社) 東牟婁郡那智勝浦町那智山 7:00~16:30 境内自由 お瀧拝所舞台参入料=300円

車で20分

勝浦の名産マグロを満喫 新鮮だから味わえる内臓の料理も

### まぐろお食事竹原

☎0735-52-1134 東牟婁郡那智勝浦町築地4-3-23 11:00~14:00、17:00~21:00 不定休

車で10分

熊野那智世界遺産情報センターを併設

### 道の駅なち

☎0735-52-9201(那智駅交流センター) 東牟婁郡那智勝浦町浜ノ宮361-2 9:00~17:00 定休:月曜(祝日の場合は翌日)

車ですぐ

神武天皇はここで丹敷戸峠を討伐

### 神武天皇頓宮跡

東牟婁郡那智勝浦町浜ノ宮350 散策自由

車で20分

熊野三山の主祭神降臨の聖地

### 神倉神社

☎0735-22-2533(熊野速玉大社) 新宮市神倉1-13-8 境内自由

車で3分

熊野速玉大社の末社で神武天皇を祀る

### 渡御前社

☎0735-22-2533(熊野速玉大社) 新宮市御渡町619 境内自由

車で5分

神武東征神話では熊野神邑と伝わる地

### 阿須賀神社

☎0735-22-3986 新宮市阿須賀1-2-25 境内自由



熊野那智大社

神武天皇は東大阪の孔舎衛坂で敗戦した後、兄神たちを失いながらも軍を南へ進め、紀伊半島の熊野に上陸します。熊野では軍を率いて狭野を越え、熊野神邑に着き、天磐盾に登ったとされています。この狭野とは現在の新宮市佐野、神邑は阿須賀神社あたり、天磐盾は神倉神社のある神倉山といわれています。その後、神武天皇は熊野の丹敷浦で丹敷戸峠という者を討伐しましたが、その場所は境内に神武天皇頓宮跡の碑が立つ熊野三所大神社あたりとされています。神武東征にまつわるスポットを巡り、今なお語られる神話のロマンに思いを馳せてみましょう。



那智の滝

133mの落差、水量ともに日本一を誇る日本三大名瀑のひとつ。神武天皇が熊野灘から丹敷浦に上陸した際、那智の山が輝くのを見て那智の滝を探り当て、大己貴命(おおなむちのみこと)の現れたるご神体として祀りました。



神武天皇頓宮跡

現在の熊野三所大神社あたりがかつての丹敷浦にあたとされ、境内には大正時代に建立された神武天皇頓宮跡の石碑があります。神武天皇はここで丹敷戸峠という者を討伐。熊野三所大神社には、摂社である丹敷戸峠神社があります。



神倉神社

『日本書紀』によれば神武天皇が紀元前663年に天磐盾に登ったとされていますが、それが神倉神社のごトビキ岩といわれています。現在は熊野速玉大社の摂社として、熊野三山(速玉・那智・本宮)の主神降臨の聖地であり、熊野信仰の原点といえる地でもあります。ユネスコ世界文化遺産に登録されています。



熊野速玉大社

## 秘話 熊野三山のシンボル、八咫鳥の足が3本の理由

神武東征の時に、天照大神が八咫鳥を遣わし、神武天皇を大和の橿原まで案内したため、導きの神として熱く信仰され、熊野三山では八咫鳥を「神々の使い」とし、信仰の対象となっています。3本の足は、それぞれ天・地・人(朝日・昼の光・夕日とも)を表し、宇宙の創造とも関係があるとされています。八咫鳥は、日本サッカー協会のシンボルマークに描かれており、これは日本で初めてサッカーを普及した那智勝浦町出身の中村覚之助に敬意を表しデザインされたと言われています。



# 徐福伝説~不老不死を求めて~

詳細情報



## 人物 徐福 (じょふく)

秦の始皇帝に仕えた方士(呪術、祈禱、薬劑、占星術、天文学に秀でた学者)であった徐福。

今から2200年ほど前、初の中国統一を果たし、すべての権力と富を手に入れた始皇帝でさえまならなかったのが「老と死」でした。始皇帝に、「東方の三神山に不老不死の霊薬がある」と進言した徐福は、不老不死の薬を探す命を受けました。3,000人の童男童女と、五穀の種や多くの工作物を持って東方に船出を行い、「平原広沢(広い平野と湿地)」の王となって中国に戻らなかったとされています。

徐福の渡海については、中国の歴史書「史記」にも記されています。

## モデルコース

極彩色の楼門は新宮市のシンボル

### 徐福公園・天台烏薬

☎0735-21-7672(新宮徐福協会) 新宮市徐福1-4-24 8:30~17:00 無休 散策自由

石像の脇にある不老の地には、7つの徳が刻まれた石柱が立つ

### 徐福像

☎0735-21-7672(新宮徐福協会) 新宮市徐福1-4-24 8:30~17:00 無休 散策自由

徐福はこの地で亡くなったとされる

### 徐福の墓

☎0735-21-7672(新宮徐福協会) 新宮市徐福1-4-24 8:30~17:00 無休 散策自由

徐福グッズのほか 天台烏薬を使った土産もおすすめ

### 徐福公園売店

☎0735-21-7672(新宮徐福協会) 新宮市徐福1-4-24 8:30~17:00 無休 レンタサイクル利用料=1日500円

徒歩で5分

柚子の香りが食欲をそそるさんま姿寿司

### 徐福寿司駅前店

☎0735-23-1313 新宮市徐福2-1-9 10:00~17:00 定休:木曜

徒歩で10分

徐福が上陸し、第一歩を記した地

### 徐福上陸の地

☎0735-22-2840(新宮市観光協会) 新宮市阿須賀 散策自由

徒歩ですぐ

徐福が目指した標高約38mの蓬莱山

### 蓬莱山・阿須賀神社

☎0735-22-3986 新宮市阿須賀1-2-25 境内自由



徐福公園

熊野川の河口近くにある蓬莱山。今から2200年ほど前、徐福はこの山を見て上陸したといわれています。秦の始皇帝の命により、東方海上の三神山にあるという不老不死の仙薬を探るため旅立った徐福は、大航海の末、熊野地方に到着しました。徐福一行はこの地で「天台烏薬」という生薬となる植物を発見しましたが、熊野の温暖な気候、美しい風景、さらには土地の人々の温かさに触れ、この地への永住を決めました。田畑の開墾や、農業や漁業の技術、捕鯨などを伝えたともいわれており、新宮市には徐福渡来の地として、数多くの伝承資料が残っています。



徐福の墓

熊野の伝説によれば、徐福はこの地で亡くなったとされ、中国でもここに徐福の墓があることが定説になっています。現在の墓碑は、紀州藩の祖徳川頼宣の命で儒臣の李梅溪(ばいけい)が揮毫したもので、元文元年(1736)6代藩主宗直によって建立されました。7人の重臣は、徐福が眠る右側の「七塚の碑」に祀られています。

### 徐福上陸の地

阿須賀神社の南東約100mに位置し、灯籠型の記念碑が熊野川沿いの遊歩道に建てられています。霊薬を探し求め蓬莱山を目指した徐福がここに上陸、第一歩を記したとされている場所です。



蓬莱山・阿須賀神社

徐福が目指したという標高約38mの蓬莱山は、古来より崇敬を集めてきた神奈備(かむなび)で、常緑樹に覆われています。その南麓にある阿須賀神社は紀元前423年の創建とされ、境内には徐福を祀った祠や、元の支配に追われ北条時宗の招きで来日した宋の僧、無学祖元が自らを徐福に重ね合わせて詠んだ漢詩の石碑があります。



## 秘話 熊野速玉大社の「木板浮彫人物図」と徐福

室町時代に足利義満が奉納したと伝えられる調度品を中心に、約1200点もの貴重な文化財を所蔵する熊野速玉大社の「熊野神宝館」。ここには「木板浮彫人物図」も保存されていますが、この図に描かれている人物が徐福ではないかといわれています。



# 北山の地から 捲土重来を目指した護良親王

詳細情報



**人物** 護良親王 (もりよし/もりながしんのう) 延慶元年(1308)~建武2年(1335)

鎌倉代末期から建武の新政期の皇族。6歳の頃、尊雲(そんうん)法親王として天台宗三門跡の一つである梶井門跡(三千院門跡)に入りました。幼少の頃から一を聞いて十を知るように利発聡明な頭脳を持ち主で、比叡山に入ると瞬間に衆徒の信頼を集め、20歳の若さで天台座主の地位に就きました。

「太平記」では、武芸を好み、仏教の修行や学問には一切関わらず、毎日僧兵と武芸の訓練を熱心に取り組む不思議な天台座主であったことが描写されています。また、武器の取り扱いについては免許皆伝の腕前であったといわれています。

## モデルコース

新宮へと木材を運んだ筏師が通った険しい山道

### 筏師の道

0735-49-2324(北山村観光センター) 奈良県吉野郡十津川村神下~東牟婁郡北山村小松 散策自由

車で5分

固い岩盤が北山川に浸食されてできたV字峡

### 神護

0735-49-2324(北山村観光センター) 東牟婁郡北山村下尾井 散策自由

車で10分

おくところ温泉併設のレストラン

### おくところ温泉 レストランじゃばら食堂

0735-49-2575 東牟婁郡北山村下尾井476 11:00~14:00(LO13:30)、17:00~20:00(LO19:30) 定休:木曜(祝日、年末年始、7~8月は無休)

車で10分

護良親王の幼くして亡くなった若君を祀る

### 骨置神社

0735-49-2324(北山村観光センター) 東牟婁郡北山村竹原 境内自由

車で5分

牛頭天王、護良親王、竹原八郎が祭神

### 花知神社

0735-49-2324(北山村観光センター) 三重県熊野市神川町花知 境内自由

護良親王を守る要塞のような屋敷跡

### 竹原八郎屋敷跡

0735-49-2324(北山村観光センター) 三重県熊野市神川町花知 散策自由

車で10分

四季折々の表情を見せる風光明媚な溪谷

### 七色峡

0735-49-2324(北山村観光センター) 東牟婁郡北山村七色 散策自由

車ですぐ

1柱六角形の石塔で、各面にお地藏さんが1体ずつ刻まれている

### 七色の六地藏

0735-49-2324(北山村観光センター) 東牟婁郡北山村七色 境内自由



筏師の道

早くから鎌倉幕府の討幕運動に加わった後醍醐天皇の皇子である護良親王。後醍醐天皇が隠岐に流された頃、鎌倉幕府の追及を逃れて紀伊山地を巡り、熊野衆徒を味方につけて再起しようと熊野を目指しました。道中で受けたおかげにより、十津川に向かい、元弘元年(1331)に南朝の忠臣、竹原八郎に迎えられ北山に。やがて現地の土豪を味方につけて吉野を占拠しました。護良親王の活動により反幕府勢力が結束し、天皇方巻き返しの原動力となり鎌倉幕府滅亡に果たした役割は大きいといえます。北山の地には、捲土重来を期した護良親王が刻んだ歴史の痕跡が残っています。

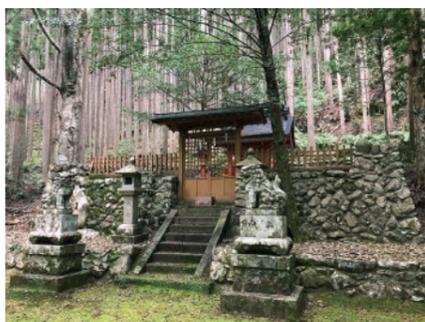


### おくところ温泉 レストランじゃばら食堂

おくところ公園の一角に湧くおくところ温泉併設のレストラン。木の温もり漂う店内では、豊富な定食メニューや、北山村名産のじゃばら果汁を使った北山ハイボール550円など、お酒も楽しめます。

### 骨置神社[こうずじんじや]

護良親王と竹原八郎の娘である、雛鶴姫の間には若君が生まれましたが幼くして亡くなり、土地の人々はその御霊を尊んでお祀りし、創建したのがこの神社。境内は背の高い杉林に囲まれて厳かな雰囲気になっています。神明造のお社の脇には、北山村の竹原区・七色区それぞれの山の神様を祀った丸石が置かれています。



### 花知神社

骨置神社から北山川を渡った対岸の、竹原八郎屋敷跡にある神社。牛頭天王のほか護良親王と竹原八郎も祭神として、小さな社殿に祀られています。実は三重県熊野市に位置していますが、北山村竹原区との関係からしても県境にとらわれることなく熊野はひとつであることを実感できる場所です。



## 秘話 まさに七変化する七色峡

桜、ツツジ、紅葉、そして杉の美林が彩る人造湖を湛える七色ダムの少し下流に位置する「七色峡」。四季の移ろいと共に水の色が7色に変化するという不思議な峡谷で、清冽なせせらぎは心まですぐような爽やかさです。



# 諸国行脚の歌人 西行が歌い歩いた道を行く

詳細情報



**人物** 西行 (さいぎょう) 元永元年(1118)~文治6年(1190)

俗名は佐藤義清。田中荘・池田荘(紀の川市)の領主であった佐藤家は、代々都に上がり、左衛門尉や檢非違使などを勤めました。西行も18歳で北面の武士として鳥羽上皇に仕えましたが、23歳で突如出家し、吉野山の麓をはじめ、陸奥や出羽、瀬戸内や讃岐など、心の赴くままに諸国を行脚し、和歌を詠みました。

修行のため、陸奥へ旅立ったのは29歳の頃。その後、3年間の陸奥の旅から帰り着いた西行は、抱るべき仏法を見定め、高野山へ入山しました。高野山での居住は、出入りを繰り返しながら30年にも渡ったといわれています。

## モデルコース

内部には西行の像も祀られている

チェックポイント

### 西行庵

橋本市清水 散策自由

MAP P6 M-3

車で30分

西行の妻娘を偲んで建てられた

チェックポイント

### 西行堂

0736-22-0300(かつらぎ町観光協会) 伊都郡かつらぎ町下天野 散策自由

MAP P3 F-2

徒歩ですぐ

西行の妻娘が眠るとされている

### 西行妻子の墓

0736-22-0300(かつらぎ町観光協会) 伊都郡かつらぎ町下天野 散策自由

車で15分

旬の素材で作られた フランスの家庭料理を味わおう

### 伊咲亭

0736-22-1595 伊都郡かつらぎ町東茨田635 8:30~18:00(LO17:30) 定休:日・月曜

車で20分

西行が旅の途中に立ち寄ったとされる古刹

### 粉河寺

0736-73-4830 紀の川市粉河2787 8:00~17:00(受付) 拝観自由 本堂内拝観料=400円※境内は無料

車で15分

西行が育ったとされる土地に立つ

チェックポイント

### 歌聖西行法師像

0736-77-2511(紀の川市生涯学習課) 紀の川市窪 見学自由

MAP P3 E-2

徒歩で7分

龍蔵院にある生誕石碑

### 西行法師生誕の地石碑

0736-77-2511(紀の川市生涯学習課) 紀の川市竹房152 散策自由

車で45分

西行は、ここの美しさは 神の御心によるものと讃えた

### 和歌の浦

073-441-2775(和歌山県観光振興課) 和歌山市新和歌浦 散策自由



和歌の浦

西行は「山家集」にて「苗代に 堰下されし 天の川とむるも神の 心なるべし」とその美しさを讃えました。

諸国行脚の日々を送り、各地で和歌を詠んだ平安末期の代表的歌人である西行は、度重なる出入りを繰り返しつつも30年にも渡って高野山に居を構えました。そこから京へ上る途中、天野(かつらぎ町)を経る道があります。田畑が広がり人家がひっそりと佇む天野の郷は、桃源郷を思わせ西行を魅了しました。この天野の地で、西行は同じく出家した妻子とともに庵を営み、修行しながら暮らしたといわれています。全国を行脚し、多くの歌を残した西行のルーツを辿り、それぞれの景色を眺めながら彼が和歌に詠んだ思いに心を重ねてみるのも一興です。



### 西行庵

西行は、『新古今和歌集』の代表的歌人の一人。もともと鳥羽上皇の北面の武士であった職を捨て法師となった西行は、旅の途中の一時期、この小さな庵で3年間生活したとされます。また、庵の近くには西行が詠んだ歌に出てくる苔清水が今でも湧き出ており、歌の思いを重ねることが出来ます。内部には西行の像も祀られています。



西行堂

心の赴くまま、各地に庵を建てて暮らしたとされる西行。彼とともに出家した妻娘が修行しながら住んだと伝えられる天野の地で生涯を終えた2人を偲んで建てられました。以降、平安時代末期から天野の里人たちにより再建を繰り返し、守られています。現在のお堂は、1986年に場所を移して再建されたものです。



歌聖西行法師像

紀の川市は西行が育ったとされる土地。郷土の偉人を讃え、紀の川市が銅像を建立。高さ2mのブロンズ像の下には西行の和歌「なげけとて月やは物を 思はする かこち顔なる わが涙かな」が刻まれています。

## 秘話 900年の歴史!産湯に使用したとされる井戸

田中荘・池田荘(紀の川市)の荘官であった佐藤家に生まれた西行。西行生誕地の碑がある龍蔵院の境内東側には西行が産湯に使ったといわれる井戸が今も残っており、900年以上の歴史を刻み続けています。

# 熊野の入口、藤白から続く 後鳥羽上皇が愛した峻険な道のり

詳細情報



**人物** 後鳥羽上皇 (ごとびじょうこう)  
治承4年(1180)~延応元年(1239)

第82代天皇で、在位は寿永2年(1183)~建久9年(1198)。高倉天皇の第4皇子であり、寿永2年(1183)、祖父・後白河法皇の意向により4歳で即位しました。15年の在位の後、建久9年(1198)に19歳で譲位し、上皇として院政を開始した同年に、さっそく熊野御幸を行うほど、熊野信仰に熱心でした。文武両道で、『新古今和歌集』の編纂でも知られ、また、中世屈指の歌人でもあり、その歌作は後代にまで大きな影響を与えています。

承久3年(1221)、鎌倉幕府執権の北条義時に対して、討伐の兵を挙げた承久の乱にて、朝廷側が敗北したため隠岐に配流され、延応元年(1239)に同地で崩御しました。

## モデルコース

熊野の神域への入口

**熊野一の鳥居跡**

海南市鳥居257 散策自由

徒歩で5分

かつて聖域に入る直前に身を清める潔斎所

**祓戸王子**

海南市鳥居257-1 境内自由

徒歩で15分

熊野信仰を広めた藤白鈴木氏が住んでいたとされる屋敷

**鈴木屋敷**

☎073-482-1123(藤白神社)  
海南市藤白468・486番地 散策自由

徒歩ですぐ

格式高い五鉢王子のひとつ

**藤白王子**

MAP P5 B-8  
☎073-482-1123(藤白神社)  
海南市藤白448(藤白神社内) 境内自由

徒歩ですぐ

名物の早なれずしを古道歩きのお弁当や贈答用にも

**笹ふじ(紀州早なれ寿司店)**

☎073-484-3324 海南市藤白394  
10:00~18:00(売り切れ次第終了) 定休:火曜

徒歩で1時間25分

塔下王子、橋本王子、みかんと菓子の祖神・田道間守などの社祠を合祀

**所坂王子**

MAP P3 C-3  
☎073-494-0083(橋本神社)  
海南市下津町橋本779 境内自由

徒歩で3時間

「中将姫の寺」として有名  
毎年5月14日は来迎会式で賑わう

**得生寺**

MAP P6 I-5  
☎0737-88-7110 有田市糸我町中番229  
9:00~17:00頃 無休 境内自由

徒歩で1時間40分

重要伝統的建造物群保存地区

**湯浅町並み散策**

☎090-7877-4749(語り部:半邊宗五)  
有田郡湯浅町湯浅1075-9(湯浅町観光協会)  
散策自由



祓戸王子

紀の川を渡り、祓戸王子を越えると見えてくるのが藤白神社です。後鳥羽上皇(法皇)は、延べ29回もの熊野御幸を行いました。その際、熊野の入口となる藤白王子に必ず宿泊し、熊野詣での安全祈願と、さまざまな法楽を催しました。そこから所坂王子を経て、有田川を渡り糸我王子から中将姫伝説で知られる得生寺へ。そして、糸我峠、方津戸峠を越えると熊野古道の宿場として、また醤油醸造発祥の地として栄えた湯浅に到着します。上皇が愛した熊野。その入口となる藤白から続く古道に思いを馳せてみませんか。

**藤白王子**

熊野九十九王子のなかでも、滝尻・発心門王子などと並び、特に格式の高い五鉢王子のひとつ。現在は、藤白坂の入り口にある藤白神社の境内に藤白王子権現本堂があり、熊野三山本地仏を祀っています。



**所坂王子**

現在の橋本神社が所坂王子跡です。明治時代の神社合祀により、塔下王子、橋本王子、みかんと菓子の祖神・田道間守、その他の社祠を合わせて祀られています。「所坂」の由来として「紀伊続風土記」には「この地はトコロ(ヤマイモ科のつる草のこと)が多く生えていたのでこの名がある」と記されています。

**得生寺**

藤原豊成の娘、中将姫(ちゅうじょうひめ)を殺害するよう命じられた伊藤春時が姫の徳に心打たれ殺害できず、名を得生と改めたのが寺の由来といわれます。有吉佐和子の著書「有田川」の作中に何度も登場し、千代の運命を大きく左右するなど、物語の要所となる場所。中将姫の命日にちなみ、毎年5月14日に行われる来迎会式が有名です。



## 秘話 橋本神社に植えられた「橋」はミカンの元祖

砂糖などを口にできなかつた昔、みかんの原種であるタチバナの実を加工して食べていたといわれます。いわば、タチバナは菓子の祖といわれ、それが日本で初めて植えられたと伝えられるのが橋本神社の旧社地の六本樹の丘。そうした経緯から、橋本神社は「みかんの神様」さらには「お菓子の神様」と呼ばれています。



**人物** 武内宿禰 (たけのうちのすくね)

第8代孝元天皇の時代、日本武尊(やまとたけるのみこと)の弟・屋主忍男武雄(やまとうしのおし)の命(やぬしおしおたけおこころのみこと)が、紀の国(和歌山県)に派遣され、菟道彦(うじひこ)の妹・影姫を娶り、武内宿禰を生んだとされています。景行から仁徳までの天皇5代を支え、あるときは朝鮮半島の新羅へ遠征し、あるときは大和国(奈良県)でため池を造営しました。和歌にも秀でるなど、多才な人物だったと伝わっています。

宿禰には7人の男の子と2人の女の子がいたようで、男の子はそれぞれ紀臣、波多臣、蘇我臣、葛城臣といった、古代に活躍した有力豪族の祖先となりました。その後活躍した豪族まで入れると、27氏の祖先であるといわれています。

## モデルコース

神功皇后の皇子を守るため宿禰が頓宮を建て滞在

**木本八幡宮**

MAP P5 A-2  
☎073-451-5915 和歌山市西庄1 境内自由

車で45分

宿禰の生誕地に建つゆかりの社

**安原八幡神社**

MAP P5 G-6  
☎073-479-0160 和歌山市相坂671 境内自由

車で5分

境内の井戸は宿禰の産湯を汲んだといわれる

**武内神社**

MAP P5 G-6  
☎073-479-0160 和歌山市松原97 境内自由

車で20分

豚骨醤油の和歌山ラーメン  
あっさりしたスープが美味

**中華そば橋本屋**

☎073-482-1661 海南市船尾257-9  
11:00~23:00 定休:木曜

車で10分

梅やミカンなど、和歌山ならではの酒はお土産に最適

**中野BC**

☎0120-050-609 海南市藤白758-45  
10:00~16:00(酒蔵見学最終受付15:00)  
定休:月曜、年末年始 見学無料(要予約)

車で35分

ノスタルジックな喫茶店  
ふんわりオムライスが自慢

**喫茶 いちりん**

☎0738-63-3030 日高郡日高町萩原874-5  
6:30~19:00(冬季は~18:00) 不定休

車で15分

神功皇后の皇子誕生の際、井戸の水を産湯に用いたことが地名の由来

**産湯八幡神社**

日高郡日高町産湯313 境内自由

# 330歳まで生きた? 伝説のヒーロー 武内宿禰の足跡をたどる

詳細情報



武内神社の境内にある宿禰の産湯を汲んだといわれる井戸

国家に忠誠を尽くし、多くの人びとから崇められた人物として知られる武内宿禰。なかでも神功皇后が新羅攻略のため朝鮮半島へ遠征する際、軍事を補佐し功労があったと伝えられています。皇后が朝鮮から凱旋する際、忍熊王が反乱を起こしたため、紀伊水門(和歌山市)を経て帰還したといわれており、和歌山市には、皇后の皇子(後の応神天皇)を宿禰が守り滞在了した地や、皇后が滞在了した地にはゆかりの神社が残っています。生誕地については江戸時代に考証がなされ、和歌山市松原にある井戸が宿禰誕生の際に産湯を使った井戸であると考えられています。



**木本八幡宮**

社伝によると、天照大神の御神体とされる日像鏡(ひかたのかがみ)を祀る木本宮と芝原八幡宮を合祀したのが木本八幡宮。芝原八幡宮は、神功皇后の命を受け、皇子・誉田別(ほむたわけ)命(応神天皇)を守護するために武内宿禰が紀ノ川河口に頓宮(仮の宮)を建てたという故事に基づき、創建された神社といわれています。



**安原八幡神社**

忍熊王の反乱を避け、紀伊水門(現在の安原付近)に到着した神功皇后は、皇子を武内宿禰に託し、自らは日高郡衣奈まで迂回した後、再び安原の津田浦に上陸、頓宮を建て滞在したのが当神社といわれます。この地は宿禰の生誕地で、一族が勢力を誇っていたため、皇后も安心して皇子を託したといわれます。



**武内神社**

田園風景の中に行む安原八幡神社の奥宮。武内宿禰の母は紀伊国造の祖先菟道彦(うぢひこ)の娘影姫と伝わり、宿禰は現在の和歌山市松原のあたりで生まれたといわれています。武内神社の境内には、宿禰の産湯を汲んだといわれる井戸が残り、彼が歴代天皇に仕えるほどの長寿と伝わることから、長寿の水として親しまれています。

## 秘話 徳川家もあやかった!? 武内宿禰ゆかりの水

歴代の天皇に仕え、国家に忠誠を尽くした功労が伝えられる武内宿禰は、非常に長命で330歳まで生きたという伝承も。紀州徳川家では宿禰の長命にあやかり、代々子どもが生まれると彼の誕生井の井戸水を産湯として使ったといわれます。武内宿禰誕生井は、武内神社境内の長寿殿という建物の中に現存しています。



# 日本最古の英雄譚として知られる「神武東征神話」をたどる旅

詳細情報



## 人物 五瀬命 (いつせのみこと)

初代天皇である神武天皇の長兄。鸕鷀草葺不合尊(うがやふきあえずのみこと)と、海神の娘である玉依姫との間に生まれました。五瀬命ら4兄弟は、日本全土を平和に治める都を置く最適な場所を探すため、東を目指して日向(宮崎県)を出発しました。宇佐(大分県)から筑紫(福岡県)を経て、安芸(広島県)、吉備(岡山県)、瀬戸内海を船で東へと進みました。そして大阪湾から河内国(大阪府)に入った際、地元の豪族である長髓彦(ながすねひこ)の激しい抵抗に遭い、負傷した五瀬命は、紀伊国(和歌山)の男水門(おのみなと)で無念の雄叫びを上げ亡くなりました。

## モデルコース

五瀬命が無念の雄叫びを上げた地

**水門吹上神社** MAP P5 C-4

☎073-422-7007 和歌山市小野町2-1 境内自由

車で5分  
肉・魚・五葷(香りの強い野菜)を使わない精進料理を提供

**精進cafeふおい**

☎073-426-5203 和歌山市新通3-3-1 11:00~18:30(LO18:00) 定休:火曜

車で15分  
「西国三社参り」のひとつ 五瀬命の御霊を祀る

**竈山神社** MAP P5 E-6

☎073-471-1457 和歌山市和田438 窓口受付9:00~17:00(祈禱受付は~15:30) 境内自由

車で20分  
名草戸岬の頭部を祀っていると伝えられ 頭の守護神として信仰される社

**宇賀部神社** MAP P3 D-3

☎073-487-3285 海南市小野田917 参拝自由

車で10分  
名草戸岬の胴を祀っていると伝えられ お腹の神様として信仰される社

**杉尾神社**

☎073-488-5248 海南市飯井1858 境内自由

車で10分  
名草戸岬の足を祀っていると伝えられ 足の神様として信仰される社

**千種神社**

☎073-487-1954 海南市重根1125 境内自由

車で1時間20分  
神武天皇が熊野に向かう途中に上陸し 戦勝を祈願したと伝わる地

**太刀ヶ谷神社**

西牟婁郡白浜町2211 境内自由



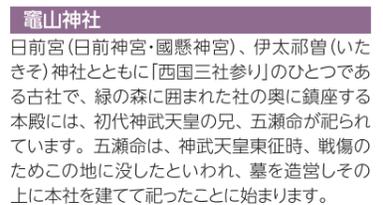
竈山墓(五瀬命の墓)

神武東征神話は、神話における「旅立」→「試練」→「成就」に通じる枠組みをもち、神武天皇による日本建国の経緯が壮大なスケールで描かれています。和歌山が舞台となっているのは、「試練」の物語。東大阪の「孔舎衛坂敗戦」を受けて神武の長兄・五瀬命が負傷し、痛みと無念のため雄叫びをあげた地と伝えられている水門吹上神社や、五瀬命の御霊を祀る和歌山市の竈山神社など神話ファンなら外せない重要スポットを巡ります。



## 水門吹上神社

紀州「十日戎祭」発祥の地として有名で、福の神を二神(戎様と大国様)でお祀りする、全国でも珍しい形式の神社です。境内にそびえ立つ「神武天皇聖蹟男水門顕彰碑(じんむてんのうせいせきおのみなとけんしょうひ)」には、神武東征の際に、男水門で五瀬命が無念の雄叫びを上げ亡くなられた様子と、男水門の名称の由来が刻まれています。



## 竈山神社

日前宮(日前神宮・國懸神宮)、伊太祁曾(いたきそ)神社とともに「西国三社参り」のひとつである古社で、緑の森に囲まれた社の奥に鎮座する本殿には、初代神武天皇の兄、五瀬命が祀られています。五瀬命は、神武天皇東征時、戦傷のためこの地に没したといわれ、墓を造営しその上に本社を建てて祀ったことに始まります。



## 宇賀部神社

現在の海南市と和歌山市付近にあった名草邑(なぐさむら)という地域を治めていた名草戸岬(とべ)という豪族が、神武東征の軍と死闘を繰り広げ、あえなく最期を遂げたと伝えられています。その名草戸岬の首級を祀るともいわれ、古来より頭の守護神として、「おこべさん」の愛称で広く親しまれています。

## 秘話 神聖な空気が漂う本殿裏の竈山墓

竈山神社の本殿裏には、神武天皇の兄である五瀬命の古墳があります。形式は円墳で、記紀に五瀬命が紀伊国竈山に葬られたことは記載されていますが、長らく竈山墓の所在は不明となっていて、こちらの古墳が竈山墓に治定されたのは明治9年(1876)のこと。現在は宮内庁が管理しています。



# 日本版ハムレット? 有間皇子の儂き万葉歌

詳細情報



## 人物 有間皇子 (ありまのみこ) 舒明12年(640)~斉明4年(658)

父は軽皇子、母は左大臣・阿倍内麻呂の娘・小足媛(おたらしひめ)。有間湯湯(神戸市)にて生まれたことが名の由来です。大化の改新後、軽皇子が孝徳天皇として即位したため、皇位継承の可能性もありましたが、中大兄皇子が政治の実権を握るとその立場は一変。危険を察知した有間皇子は、療養と称して牟婁の湯(白浜町)へ避難しました。帰京後、この地を称賛して斉明天皇に勧めました。

その後、蘇我赤兄が仕向けた謀反の畏にはまった有間皇子は、裁きを受けることとなり、牟婁の湯に行幸中の斉明天皇もとへ。そこで、中大兄皇子の厳しい尋問を受け送還となり、途中の藤白坂にて、わずかに19歳で絞首されました。

## モデルコース

有間皇子の墓ではといわれている

**岩内1号墳** MAP P3 C-9

☎0738-23-5525 (御坊市教育委員会生涯学習課) 御坊市岩内845-1 散策自由

車で25分  
有間皇子は松の枝を引き結んで歌を詠んだ  
**有間皇子結松記念碑**  
☎0739-74-3134 (みなべ町教育委員会) 日高郡みなべ町西岩代 散策自由

駐車場まで車で10分  
駐車場から徒歩で5分  
熊野九十九王子社の本殿のなかでも 最も古い建造物のひとつ

**千里王子** MAP P5 G-9

☎0739-74-8787 (みなべ観光協会) 日高郡みなべ町山内259 境内自由

徒歩ですぐ  
熊野詣の旅人を癒した美しい砂浜が続く 全国有数のアカウミガメの産卵地でもある

**千里の浜**

☎0739-74-8787 (みなべ観光協会) 日高郡みなべ町山内 散策自由

徒歩で5分  
千里王子社に隣接する観音堂

**千里観音**

☎0739-74-8787 (みなべ観光協会) 日高郡みなべ町山内259 境内自由

車で10分  
美しい海を望むカフェ  
地元の備長炭や海産物を使った料理も

**Café de Manma**

☎0739-72-2361 日高郡みなべ町通田1590-40 10:00~17:00(土・日曜、祝日は9:00~) ランチ11:00~15:00 定休:水曜

車で40分  
有間皇子がその素晴らしさを讃えた湯

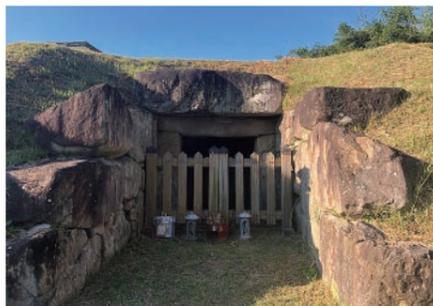
**崎の湯** MAP P3 E-7

☎0739-42-3016 西牟婁郡白浜町1668 8:00~17:00(4・5・6・9月は8:00~18:00、7・8月7:00~19:00) 無休(メンテナンスによる休業あり) 入浴料=500円



有間皇子結松記念碑

孝徳天皇の子でありながら政争に巻き込まれた悲運の皇子・有間皇子。謀反の畏にはまり囚われの身となった有間皇子は、裁きを受けるため、斉明天皇が滞する牟婁の湯に護送されました。その途中、磐代(みなべ町)で「磐代の浜松が枝を引き結び 真幸くあらばまた還り見む」と、歌を詠んでいます。松の枝を引き結ぶのは、旅の安全を祈る古代人の風習。有間皇子は、牟婁の湯から都へ送還となり、結んだ松の枝は再び目にしましたが、藤白坂で絞首され、19歳の若い命は絶たれてしまいました。



## 岩内1号墳

7世紀中頃に造営された横穴式石室墳。石室からは漆の破片や鉄製の金具、須恵器、土師器、装飾された大刀などが出土し、版築という工法でつくられています。こうしたことから、中央の皇族など高貴な人物を葬った古墳であると考えられており、そのひとりとして有間皇子の墓ではないかといわれています。



## 崎の湯

有間皇子がその素晴らしさを讃え、斉明天皇も自ら出向いた湯崎温泉は『日本書紀』に牟婁湯(むろのゆ)として記されています。湯崎温泉にある崎の湯は、当時から変わらない風情を残しており、目前には潮風香る太平洋の絶景が広がります。

**千里王子**  
延暦年間(782~806)に桓武天皇によって創建されたと伝わる、熊野九十九王子社の本殿のなかでも最も古い建造物のひとつ。花山法王や後鳥羽上皇、江戸時代には徳川頼宣や田辺領主たちも参詣に訪れたといわれます。



## 秘話 千里王子は貝の王子

『紀伊国名所図会』に描かれた当時の風景をそのまま残す千里の浜。この浜で拾った貝を社殿に供える風習があったことから、千里王子は別名を貝の王子とも呼ばれており、足利義満の側室の北野殿も貝を拾い、奉納しています。



# わかやままるスタンプラリー

アプリを使って、県内巡りを楽しめるスタンプラリーに挑戦しよう。  
和歌山ならではの豪華賞品がもらえるチャンス。目指せ！スポット全踏破!!

Androidの場合はGoogle Playから、iOSの場合はApp Storeからアプリをダウンロードしてください。



237店舗で使える  
お得なクーポン付!!



## 和みわかやまっぷ withスタンプラリー

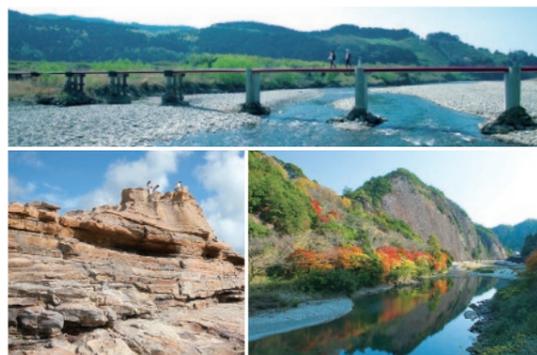
和歌山をお得に巡る グルメ・お土産・温泉  
紀北・紀中・紀南の特産を扱ったご当地グルメから個性豊かなお店や温泉、旅の思い出になるお土産まで、お得なクーポンと合わせて気軽にチャレンジしてみよう！  
現在地付近のお店が表示される地図機能も便利！

## 水の国、わかやま。



滝、絶景、アクティビティ。和歌山の「水」を楽しむ旅  
和歌山の清らかな水が作りだす滝、渓谷、奇岩・巨石の絶景や、食、温泉などのスポットを巡る。  
水の恵みを全身で感じるアクティビティも併せて紹介。

## 南紀熊野ジオパーク



大地に育まれた熊野の自然と文化に出会う旅  
プレート沈み込みに伴って生み出された3種類の大地が作る独特の景観、温暖湿潤な気候がもたらす多種多様な動植物や熊野信仰などを体感できるスポットを巡る。

# もっと わかやまを楽しむなら！

和歌山県がオススメする旬の魅力を紹介したウェブサイトが盛りだくさん。  
さまざまな旅プランに合わせてとっておきのわかやまを遊びつくそう。

pick up 1

## サイクリング王国わかやま



県内全域に広がる総距離800kmを超えるサイクリングロードは楽しみ方が無限大。距離・時間・レベルに応じた多彩なルートや、サイクルステーションなどの情報が満載。

詳しくは…WEBサイトをCHECK!!

サイクリング王国わかやま 検索



pick up 2

## 水の国、わかやま。



「水の国」と呼ばれる自然豊かな和歌山には源となる美しい水環境がたくさん。その水が作りだす絶景、多種多様な温泉や食など水の恵みを体感しよう。

詳しくは…WEBサイトをCHECK!!

水の国、わかやま。 検索



pick up 3

## わかやま遊び



和歌山のアウトドア・フィールドには自然を活かしたアクティビティや体験観光が充実。四季折々のわかやま遊びをしよう。ウェブサイトでオンライン予約も可能。

詳しくは…WEBサイトをCHECK!!

わかやま遊び 検索



### Hot News

## 2022年版「ミシュランガイド」に和歌山の飲食店が掲載

2021年10月に発行された「ミシュランガイド京都・大阪+和歌山2022」に、和歌山の飲食店が初めて掲載されました。遠回りしてでも訪れる価値のある素晴らしい料理とされる「二つ星」に2軒、近くに訪れたら行く価値のある優れた料理とされる「一つ星」に6軒など、和歌山の厳選された飲食店が全85軒紹介されています。  
梅干しや醤油、鰹節といった和食の原点、発祥の地である和歌山のグルメをお楽しみください。

詳しくは…WEBサイトをCHECK!! 和歌山 グルメ情報 検索



©MICHELIN